

多可町社会福祉協議会 第4次地域福祉推進計画（令和3年度～令和7年度）

～みんなが安心して暮らせるまちづくりのために～

# あったか させえあいプラン

地域づくりを  
ほっとけない

移動に  
困っている人を  
ほっとけない

5つの  
ほっとけない！

できないことを  
ほっとけない

ほっとけないの  
積み重ね

知らない人を  
ほっとけない



社会福祉法人  
多可町社会福祉協議会

## 愛称の意味

「あったかささえあいプラン」という愛称には  
次のような意味があります。

- ① あたたかい気持ちのある支え合い活動を  
進めていくことが特に重要  
という意味があります。



- ② “あっ！多可” 町の計画だ！



と気づいてもらいやすい  
意味もあります。

- ③ そんなアイデアも “あったか！”



と発見がある  
という意味もあります。

## はじめに

社会福祉法人 多可町社会福祉協議会  
会長 山口達也

# 第1章

旧3町が合併し、多可町社会協議会が発足して15年が経ちました。「地域福祉の向上に貢献する」を理念に数々の施策を推し進めてまいりましたが、その背景となる社会情勢はこの間大きく変化してきました。

平成17年（2005年）に25,197人であった多可町の人口は、令和2年（2020年）には20,232人に、高齢化率は24.69%から36.49%になりました。今後も続くと予想される人口減少、少子高齢化、社会的格差の拡大による貧困家庭の増加、また人間関係の希薄化等々により、生きづらさを感じ支援を必要としている人は年々増え続け、しかもその内容は多岐にわたり、対応がより困難になってきています。

このような中、第4次地域福祉推進計画が策定されました。今次推進計画では、基本目標である「みんなが安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、新たに5つの活動目標（～をほっとけない）を作り、よりきめ細かく目標を設定しました。また親しみやすいように愛称を『あったかささえあいプラン』と名付けました。

「みんなが安心して暮らせるまちづくり」を目標に、社会福祉協議会役職員一同力を合わせて取り組んでまいります。住民のみなさまをはじめ、行政、関係機関、団体のみなさまのご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり多大なるご尽力を賜りました策定委員のみなさまをはじめ、関係者のみなさま、貴重なご意見をいただきました住民のみなさま方に心より感謝を申し上げます。

令和3年3月

## 第4次地域福祉推進計画の策定を終えて

第4次地域福祉推進計画

策定委員会委員長 廣 畑 幸 子

平成から変わった令和2年に、多可町社会福祉協議会の山口会長から策定委員として委嘱を受けた9名は、山口会長をオブザーバーに迎えて、第4次地域福祉推進計画の策定に取り組んできました。

この計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5ヶ年とし、毎年取り組みの点検・評価を行い、多可町社協の事業計画に反映させます。また、計画の中間年度にあたる令和5年度には、社会情勢の変化や住民のニーズなどによる新たな地域課題の抽出を行い、計画全体の見直しをします。

今回の計画策定に向けては、アンケートを実施し、1,738人という大勢の方にご協力いただきました。策定にあたった令和2年度は、少子高齢化や核家族化に加え、新型コロナウイルス感染症のため、今までと違う生活様式を求められ、生活への不安が大きくなった大変な年でした。このような中、大勢のみなさまからご意見をいただき、コロナ禍での大変さも浮き彫りになりました。これらのご意見を基に、今何が求められているのか地域課題を探り、どのようなことを望まれているのか、また、具体的にどのような取り組みが必要とされているのかの話し合いを進めました。会議を重ねる中で、日頃の生活の中での不自由さや、コロナ禍での生活への不安をどうすれば少なくできるのか、今ほど地域の絆、支え合いが必要な時はないのではないかと痛切に感じました。

社協が住民からより身近な団体として受け入れられるためには“制度で対応できない困りごと”などを受け、小さな相談窓口としての役割も欠かすことのできない大切な仕事です。地域住民には、地域の課題を自分たちで解決できる地域力を高めることがますます求められています。

「あったかささえあいプラン～みんなが安心して暮らせるまちづくり～」の実現のために、住民・社協・行政が一体となることができる取り組みが求められます。第4次地域福祉推進計画が、住民の福祉の増進につながりますよう、住民のみなさまの多可町社会福祉協議会へのさらなるご理解とご協力をお願いしたいと思います。

この計画策定に際しまして、何かとお世話いただきました社協職員のみなさま、そして熱心にご協議いただきました策定委員のみなさまには、心より感謝申し上げます。

令和3年3月

## 第1章 社会福祉協議会と地域福祉推進計画

1	社会福祉協議会とは	1
2	計画のねらい	1
3	第3次地域福祉推進計画の評価	2

## 第2章 計画の内容

1	計画の期間と進行管理の方法	5
2	基本目標と計画の愛称	5
3	社協が目指す「見守り支援体制」	6
4	計画の目指すもの	
	■第4次地域福祉推進計画 体系図	7
	■第4次地域福祉推進計画 ネットワーク関係図	8

## 第3章 活動目標ごとの取り組み

1	活動目標1 地域づくりをほっとけない！できる助け合いが健康長寿への道	9
2	活動目標2 通院、買い物などの移動に困っている人をほっとけない！	11
3	活動目標3 できないことをほっとけない！社会福祉法人や商工会、ボランティア団体などとの連携を図ります	13
4	活動目標4 知らない人をほっとけない！関わりの薄い層への啓発	15
5	活動目標5 ほっとけない！の積み重ね。住民から信頼される職員と組織づくり	15
6	コラム1 社協の進める協議体づくりや学校向け福祉学習	17
7	コラム2 “子育て世代が集まる場”から“誰でも集える場”へ	18
8	コラム3 住民主体グループの助け合い活動	19
9	コラム4 介護保険と地域資源を組み合わせた新しい暮らしぶり	20

## 第4章 参考資料

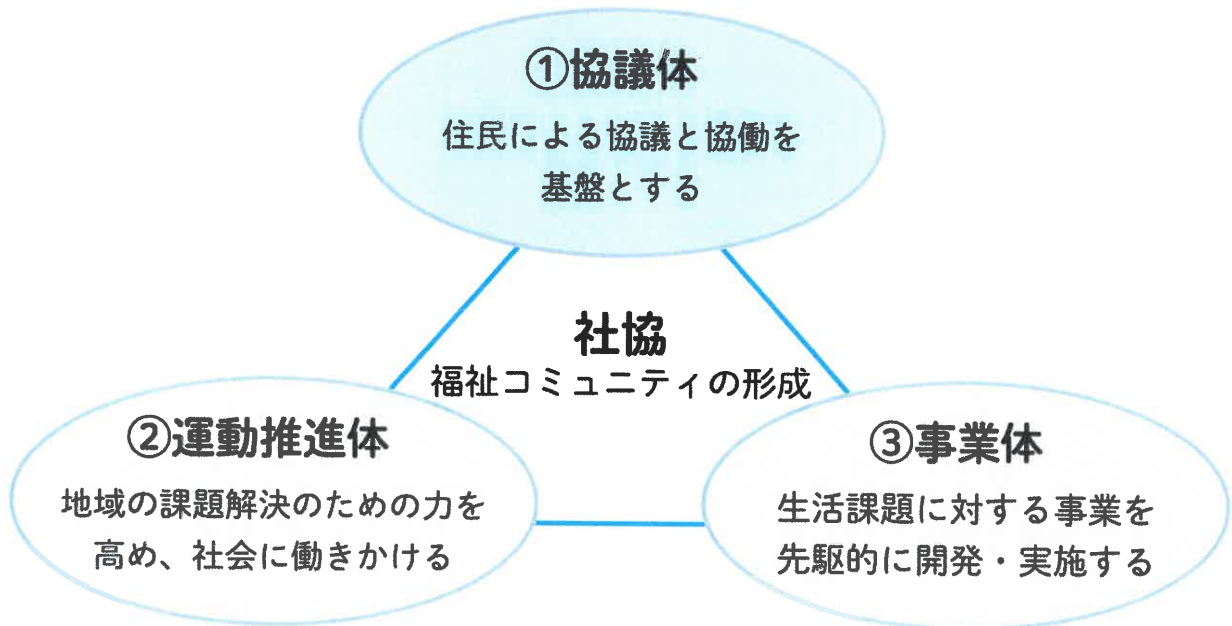
1	統計データで見える多可町の現状	21
2	「第4次地域福祉推進計画」策定における住民アンケートの結果	23
3	策定要綱	44
4	策定経過	45
5	策定委員名簿	45

# 第1章 社会福祉協議会と地域福祉推進計画

## 1 社会福祉協議会とは

社会福祉協議会（以下、「社協」という。）は、社会福祉法第109条において、**地域福祉の推進**を図ることを目的とする団体として明確に位置づけられており、「**当事者・住民の主体性を原動力としながら、生活課題を抱える一人ひとりが地域の一員として自分らしく暮らせる地域社会（福祉コミュニティ）づくりを進める**」ことを使命としています。

また、社協は、使命を実現するために、「**協議体**」「**運動推進体**」「**事業体**」という3つの組織特性を融合しながら、地域の発展を図りつつ、住み慣れた地域で住民一人ひとりが暮らし続けることができるように、地域住民や当事者のニーズ（※1）に寄り添った支援活動を進め、各関係機関との連携と協働に努めています。



## 2 計画のねらい

近年、人口減少や少子高齢化の進行、住民の生活様式や意識、価値観などの変化により、家庭機能や地域力が低下し、社会的孤立・社会的排除の課題が深刻化しています。そのため、生活課題や福祉課題の発見及び対応の遅れや、生活困窮などのより大きな問題につながっています。

また、移動手段の減少、商店の閉鎖、地域の担い手不足なども生じており、従来と同様の地域づくりに関する施策や福祉的サービス・支援では、地域住民の暮らしが成り立たなくなりつつある地域もあります。

ニーズ（※1）：個人の行動を動機づけたり、ある対象に対する選択的な方向づけの誘因となるようなもの。欲求または要求ともいう。

このような中、国が示した「**地域共生社会づくり（※2）**」では、地域におけるコミュニティを育成することで、地域住民が世代や背景を超えてつながり、相互の役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を越えて支え合う取り組みを進めることとしています。地域共生社会の実現に向けて、これまで以上に地域住民や福祉組織・関係者が主体となって連携・協働し、地域の課題を解決していくための活動を展開していくことが求められています。

地域福祉推進計画は、子どもから高齢者まで、認知症や障がいがある人も、**みんなが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる地域づくりを進める**ために重要な意義を持つ計画です。

今回の計画では、アンケート調査によって地域の課題を抽出し、その課題解決や基本目標を実現するために、住民一人ひとりや地域全体でどのような取り組みが必要かを住民が中心となって計画し、今後5年間で社協と住民が共に取り組む目標を明示しました。



### 3 第3次地域福祉推進計画の評価

第3次地域福祉推進計画では、平成28年度から令和2年度の5年間、**4つの活動目標「きづく」「つながる」「ささえあう」「ささえる」**をとおして、地域の中でお互いが気にかける関係を広げ、ゆるやかな見守りによって支え合いを推し進めてきました。計画の中間年度にあたる平成30年度には、地域住民を交えた評価委員会を設置し、中間評価を行い、①集落での定期的な協議の場の設置、②8050問題（※3）等の制度の狭間（グレーゾーン）への間接支援、③地域福祉事業の見直し、④介護事業の見直し、⑤広報活動の充実の5点に取り組むべき課題として事業を進めてきました。また、最終年度にあたる令和2年度には、職員による内部評価を行いました。

**地域共生社会づくり（※2）**：制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる、誰一人排除されることなく、みんな丸ごと受け入れるような社会をつくっていくこと。

**8050問題（※3）**：80代の親が50代の子どもの生活を支えるという社会問題のこと。

## 《第4次地域福祉推進計画策定のための内部評価まとめ》

# 第1章

### 推進目標1：きづく【重点活動】

#### 福祉学習の実施

- ・ 集落において、KJ法（※4）や白地図づくり（※5）など、福祉学習の内容を検討しながら実施を行った。
- ・ 年次計画としていた、平成30年度から同じ集落で継続して実施することや、令和2年度の全集落での実施はできていないが、平成30年度からの実施回数は増えている。

[H28]10集落16回、[H29]12集落14回、  
[H30]3集落3回、[R1]5集落6回、  
[R2]8集落8回

#### 啓発活動の充実

- ・ 社協だよりの福祉パズルの月別平均回答者数では、令和2年度は増加している。

[H28]15.3人、[H29]12.3人、[H30]11.3人、  
[R1]12.3人、[R2]16.1人

- ・ 社協への関心が低い方へ社協のことを知ってもらうため、SNS（※6）のFacebookとTwitterを活用し、週1回以上の投稿を行った。

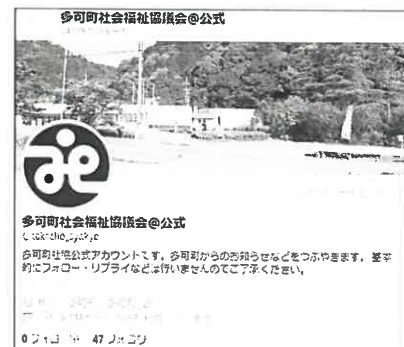
[R1]296回、[R2]172回



「そんなつどいのあるんや」  
白地図づくりではこのような気づきが多くあります。



社協だよ利多可は毎月発行！  
令和3年4月で171号です。



SNSの週1回以上の投稿は第3次計画の  
中間評価をきっかけに始めました。

**KJ法（※4）**：付箋などに意見を記入し、グループごとにまとめて図解する方法のこと。集落の福祉学習では、どのような困りごとがあり、どのような支援ができるのかを考えるきっかけづくりとして用いている。

**白地図づくり（※5）**：集落の地図に住民が集まる場所や集落内の見守りや支え合い活動などを書き込む。集落の福祉学習では、集落状況を知るきっかけづくりとして用いている。

**SNS（※6）**：ソーシャルネットワーキングサービス（social networking service）の略。個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するインターネットを利用したサービスのこと。



## 推進目標2：つながる【重点活動】

### ふれあいいきいきサロンへの支援

- ・開設数は目標の54サロンより少ないが、スタッフが手をかけ過ぎず、役割分担をしたり、目的を明確にしたサロンが立ち上がってきている。

[H30]48サロン、[R1]47サロン、[R2]37サロン



新型コロナウイルス対策をしながら開催を続けているサロンもあります。

## 推進目標3：ささえあう

### 福祉学習の実施

- ・集落において、車いす介助の方法や介護技術の勉強会の開催を行った。しかし、その後にその勉強会が集落での支え合い活動につながったという確認はできていない。

[H28]1集落1回、[H29]なし、[H30]なし、  
[R1]2集落2回、[R2]なし



災害などの非常時に備えた車いす介助の勉強会を開催したこともあります。

### ボランティアがしたくなる仕組みづくり

- ・多可町ボランティア連絡会の中で、住民と一緒に検討を行い、その後はそれを生かした活動ができている。



ボランティアをされている方ならではのアイデアをいただきました。

## 推進目標4：ささえる

### 困りごとや解決方法等を共有し、多くの地域で困りごとが解決できる見守り支援体制を構築

- ・中間評価の際、集落を越えた見守り支援体制について検討を行った結果、その範囲を小学校区もしくはより小さな範囲とした。

## 第2章 計画の内容

### 1 計画の期間と進行管理の方法

この計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5ヶ年とします。毎年、取り組みの点検・評価を行い、年度事業計画に反映させます。計画の中間年度にあたる令和5年度には、地域住民を交えた評価委員会を設置し、中間評価を行います。そこでは、社会情勢の変化や地域住民のニーズなどによる新たな地域課題の抽出を行い、計画全体の見直しを行います。



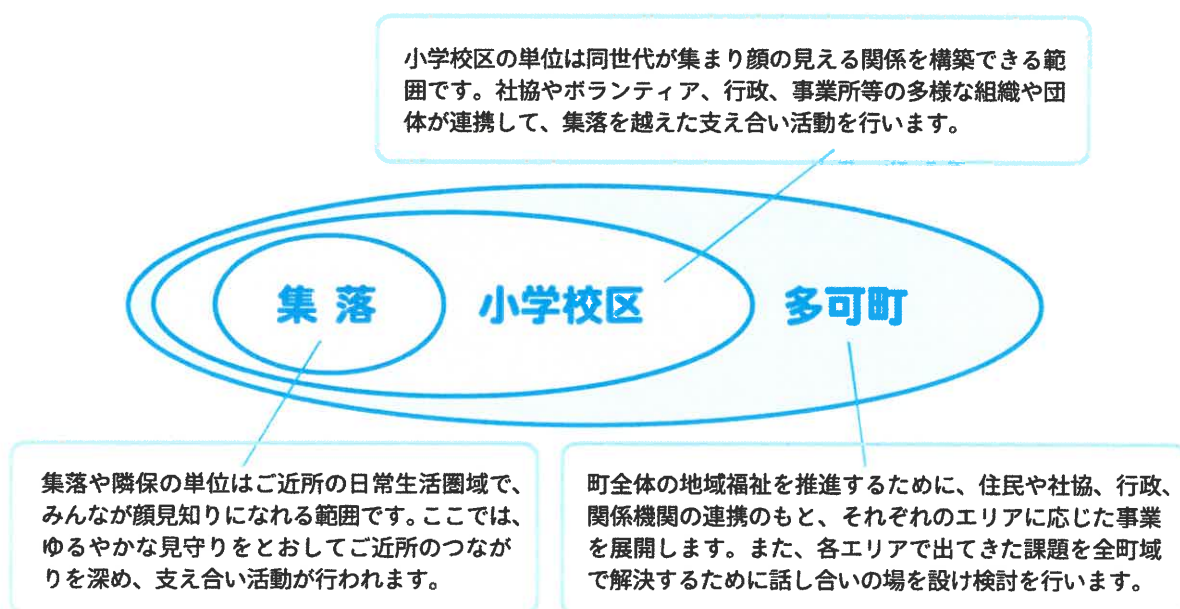
### 2 基本目標と計画の愛称

多可町社協では、平成17年の旧町社協合併当初から、「みんなが安心して暮らせるまちづくり」を基本目標に掲げ活動をしています。

また、地域、団体、行政、社協などが連携と協働を図りながら“支え合い”を進める本計画にふさわしい愛称として、「あったかさあいプラン」（表紙の裏を参照）と名付けました。

さらに、重層的に地域福祉（＝支え合い活動）を進めていくためのエリア（圏域）としては、第3次計画に続いて、下の図のとおりとしています。

図：重層的に地域福祉を進めていくためのエリア（圏域）



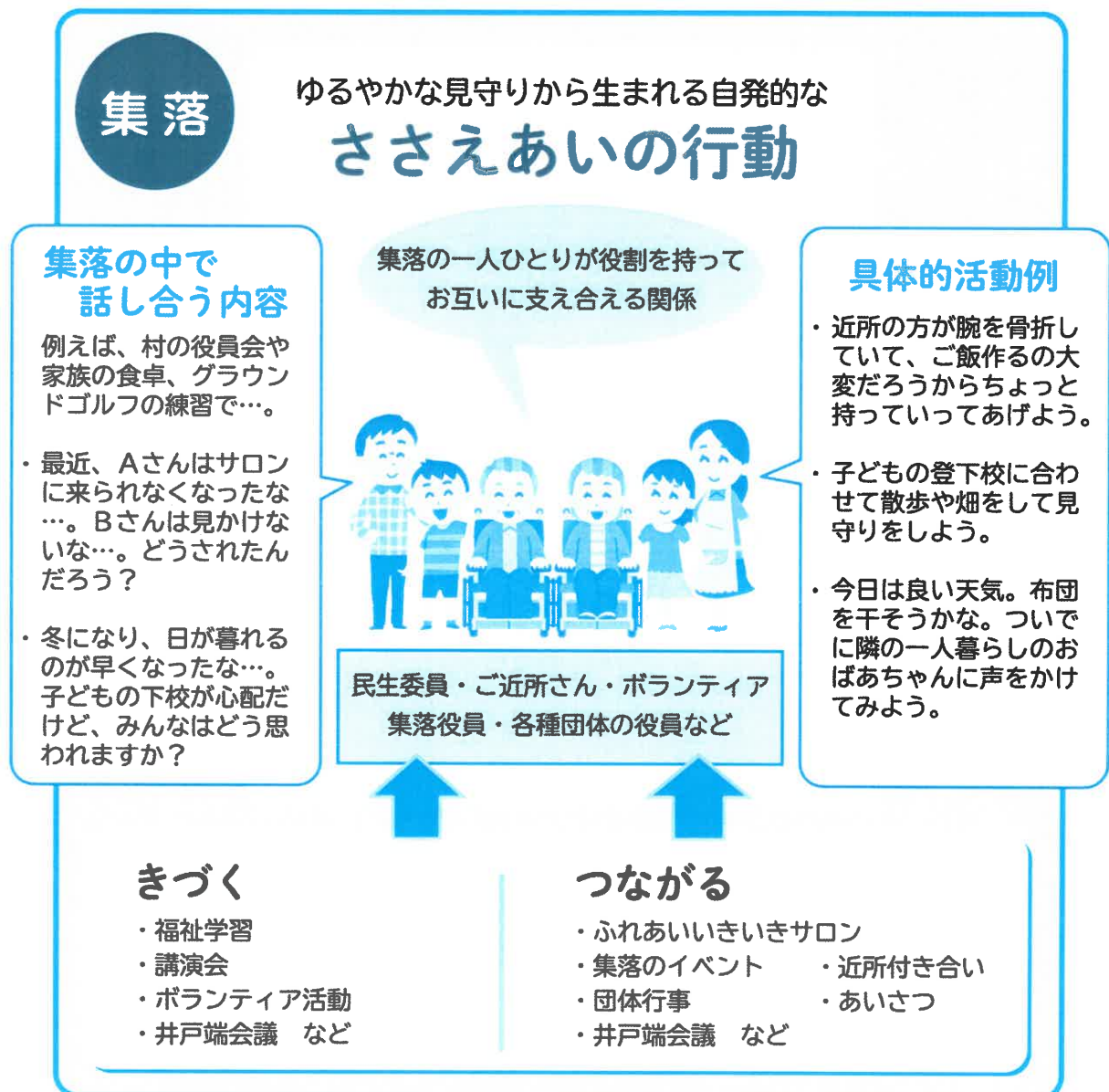
### 3 社協が目指す「見守り支援体制」

見守りは住民同士で支え合う「互助」の取り組みです。住民同士がさりげなく気づかい、**困ったときには遠慮なく助けを求められるような関係**をつないでいくことを目指しています。

重点活動「きづく」「つながる」とおして、地域の福祉を中心的に担っている区長や民生委員・児童委員等と調整を行いながら、ふれあいいきいきサロンなどの集落の集まりで住民がつながり合い、ゆるやかに見守りを行う体制を作っていきます。

見守りをとおして気づいた課題は、区長や民生委員・児童委員等を中心に集落での話し合いによって解決を目指しますが、社協職員やケアマネジャー等の専門職と一緒に解決を目指すこともあります。

集落のニーズをみんなで共有することで、**みんなの課題として認識し、住民の支え合い活動やサービスへとつないでいきます**。このような「見守り支援体制」を構築することで、みんなが安心して暮らせるまちへと進んでいきます。



## 4 計画の目指すもの

### ■第4次地域福祉推進計画 体系図

# 第2章

## 基本目標

# みんなが安心して暮らせるまちづくり

### 4つの推進目標

### 地域生活を支えるための 住民活動とサービス

推進目標3  
**ささえあう**  
ご近所付き合いから始まる  
地域づくり

推進目標4  
**ささえる**  
地域で生活するための  
様々なサービス

### 様々な活動の基盤となる土壌づくり

推進目標1  
**きづく**  
共に学び合い  
思いやりの気持ちを育む地域づくり

推進目標2  
**つながる**  
みんなが参加し、  
つながりあう地域づくり

ご近所の困りごとに気づき（推進目標1：きづく）、気軽に「どないしょっての？」と声をかけ合える関係（推進目標2：つながる）が広がっていけば、支え合う活動（推進目標3：ささえあう）が自然と広がっていきます。

住民による支え合いの活動とともに、専門家の提供する在宅生活を支えるサービス（推進目標4：ささえる）によって、基本目標である「みんなが安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて活動を推し進めます。

### 5つの活動目標

①地域づくりをほっとけない！  
できる助け合いが健康長寿への道

②通院、買い物などの移動に  
困っている人をほっとけない！

③できないことをほっとけない！  
社会福祉法人や商工会、ボランティア  
団体などとの連携を図ります

④知らない人をほっとけない！  
関わりの薄い層への啓発

⑤ほっとけない！の積み重ね。住民から信頼される職員と組織づくり

4つの推進目標を実現していくため、5つのほっとけない！による活動目標を推し進めます。

## ■第4次地域福祉推進計画 ネットワーク関係図

～みんなが安心して暮らせるまちづくりのために～

「地域共生社会」の実現のためには、福祉の枠を超えたつながり（ネットワーク）が大きな力となります。下記のような分野の団体や組織が連携、協働しながら、幅広いニーズに合わせた活動を展開していきます。

あなたはどこに当てはまりますか？  
ぜひチェックしてください。



## 第3章 活動目標ごとの取り組み

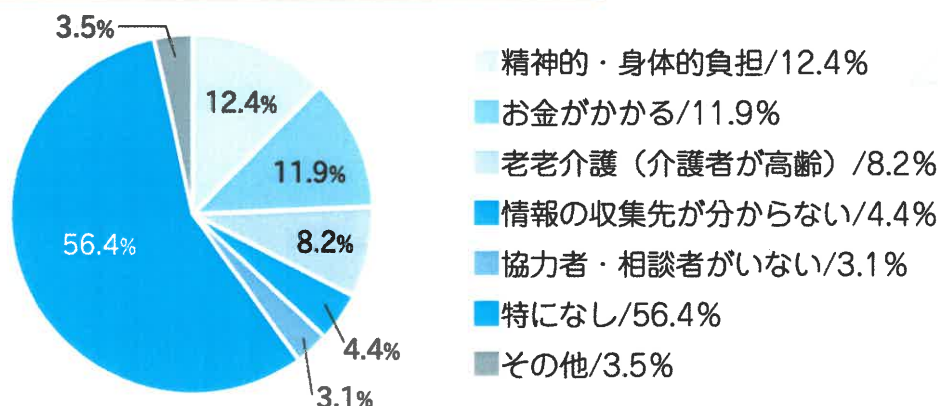
### ①活動目標1 地域づくりをほっとけない！ できる助け合いが健康長寿への道

集落でのゆるやかな見守りの中で、住民自らが地域の課題に気づき、支え合い活動を行っていく**地域づくりは、地域共生社会の中核**とも言える活動です。また、その活動において住民のみなさんが役割を持ちながら助け合うことは、**健康長寿にもつながります**。

#### ■アンケートから見えた課題

- ・介護に関して何らかの困りごとを抱えている人は、**30%以上の割合（33.5%）**となっている。また、困りごとの内容は、「精神・身体的負担」と「お金がかかる」の割合が高い。

#### 介護に関する困りごとの回答数と割合 ※回答の重複あり。



- ・記述欄の意見では、**子育てに関する課題や要望**が最も多かった。
- ・第1次計画と比べ、悩みごとや困ったことがあったとき、**相談できる人の割合が少なくなっている**。特に、男性の方が割合が高い。


#### 《「相談しない、できない」と回答した人の割合》

- ・第4次計画：**6.0%**、第1次計画：**5.5%**



多可町介護者の会の会員は20名。ボランティアも交えながら、お茶を飲みながら気軽に話せる会を毎月開催されています。

## ■課題に対して取り組むこと

実施内容	推進目標
<p>・介護者が集まり話し合える場づくりを促進し、介護の支援を図る。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「いこいの家紫陽花」では、赤ちゃんからお年寄りまで、誰でも参加できる場づくりをされています。</p> </div>	つながる
<p>・介護者や子育て世代に限らず、誰もが普段から当たり前のように集まることのできる場づくりを行い、相談しやすい環境づくりを図る。</p> <p>【例】ある集落では、午後には公民館に高齢者が集まって話している。子どもは学校から帰ってきたら公民館で遊んでいる。午後5時頃になれば親が迎えに来る（詳細はP18のコラム2を参照）。</p> <p>【実施案】<b>昼サロン</b>の開催を呼びかけ、支援を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>昼サロンとは…</b></p> <p>例えば、平日の午後3時～5時に週1回以上開催するサロンのことです。この時間に開催することで、子どもの下校時間の見守りや防犯の効果も期待できます。</p> </div>	つながる
<p>・集落での<b>支え合い活動</b>の促進と、その啓発活動を行い、相談しやすい環境づくりを図る。また、集落での支え合い活動が難しいような小さな集落では、集落を越えた活動を促進する。</p>	ささえあう
<p>・集落での<b>支え合い活動への支援</b>を図る。</p> <p>【支援案】助成金、車両の提供、ボランティア紹介、情報提供などの支援。</p>	ささえあう

## ■策定委員からのメッセージ

老老介護（※7）や独居生活が増加し、同居家族や近隣に居住する家族では支援に限界があり、緊急性に弱いと思われる。また、相談窓口は集落にあることが必要。週1回の開設や、近くに窓口がないとなかなか行くことができない。

3人集まったら情報交換。人数は少なくとも、人が集まる場が大切。

昼サロンは学童保育の代わりにもなる。また、他の集落から参加できることも必要。

老老介護（※7）：介護の必要な高齢者を高齢者が介護すること。

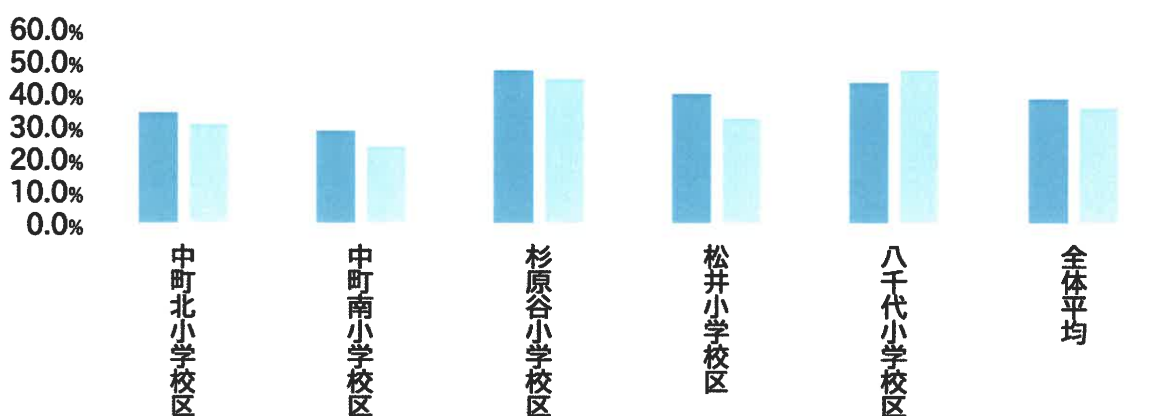
## ②活動目標2 通院、買い物などの移動に困っている人をほっとけない！

自宅で安心して過ごしていくためには、**通院や買い物の移動手段の確保**が必要です。今回のアンケートでは、依然として**困りごとを抱えている方が多い**ことに加え、その割合には**地域差**があることが分かりました。

### ■アンケートから見えた課題

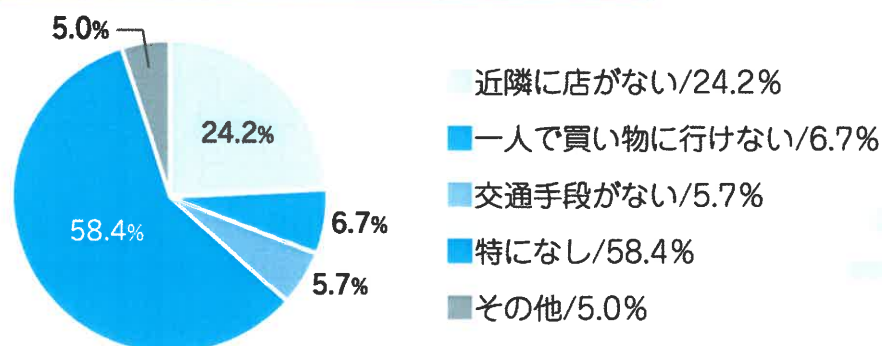
- ・**通院、買い物**に関して何らかの困りごとを抱えている人は、全体で**35%以上の割合**となっている。特に、杉原谷小学校区と八千代小学校区で割合が高い。

通院、買い物に関する困りごとを抱えている人の割合



- ・**自動車運転免許返納後の移動手段について不安を感じている**人が多い。また、若い人も将来の不安として捉えている。
- ・買い物に関する困りごとの内容は、「**近隣に店がない**」の割合が高い。


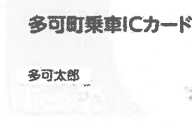
買い物に関する困りごとの回答数と割合 ※回答の重複あり。



- ・**タクシー代**の負担が大きい。タクシー券を利用するがすぐなくなる、という意見がある。
- ・バスには乗ることができるが、**バス停まで歩けない**という人もいる。



## ■課題に対して取り組むこと

実施内容	推進目標
<p>・ <b>集落での支え合い活動</b>を促進し、移動の支援を図る。また、集落での支え合い活動が難しいような小さな集落では、集落を越えた活動を促進する。また、課題への解決を目指すことで、支え合い活動の促進も図る。</p> <p>【目標】 R3年度は15集落で協議体の実施（支え合い活動に限らない）。R6年度の30集落まで、1年ごとに5集落ずつ増やしていく。</p>	<p>ささえあう</p>
<p>・ <b>バスの乗車体験会</b>を開催し、公共交通機関の利用促進を図る。</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 5px; display: inline-block;">バスの乗車体験会とは…</p> </div> <p>加美区と八千代区からバスに乗車し、中区で買い物や昼食を行う体験会を開催します。回数はそれぞれ年2回。多可町乗車ICカードを取得すれば、運賃がかなり安くなります。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p style="font-size: 8px;">多可町乗車ICカード</p>  </div> </div>	<p>きづく</p>
<p>・ <b>商店による移動販売や宅配、送迎サービス</b>などを把握し、社協だより多可などで広報することで、買い物や通院の支援を図る。</p>	<p>きづく</p>

☆杉原谷小学校区と八千代小学校区で重点的に行う。

## ■策定委員からのメッセージ

移動支援サービスの支援を図っていくには、様々な助成金だけでなく、他市町の活動団体も含めた情報収集が必要。アンテナを高く、情報を集めていこう。

バスの乗車体験会では、現状としてバスを必要としていない私たちも必要な人を誘い合って参加しよう。バス停まで行けない人も参加できるはず。

他に、コークゼミ生（※8）やボランティアなど、送迎はできなくても付き添いならできるとい人もいる。高校生が乗り方を教えるなど、いろいろな人を巻き込み、つながりづくりにも生かしていこう。



住民主体で移動支援サービスを行うグループも増えており、集落や小学校区など、様々な範囲で活動をされています。

コークゼミ生（※8）：多可町が行っている「地域互助活動向上住民研修会（通称：コークゼミ あったかは一とらいん）」を受講している人のこと。

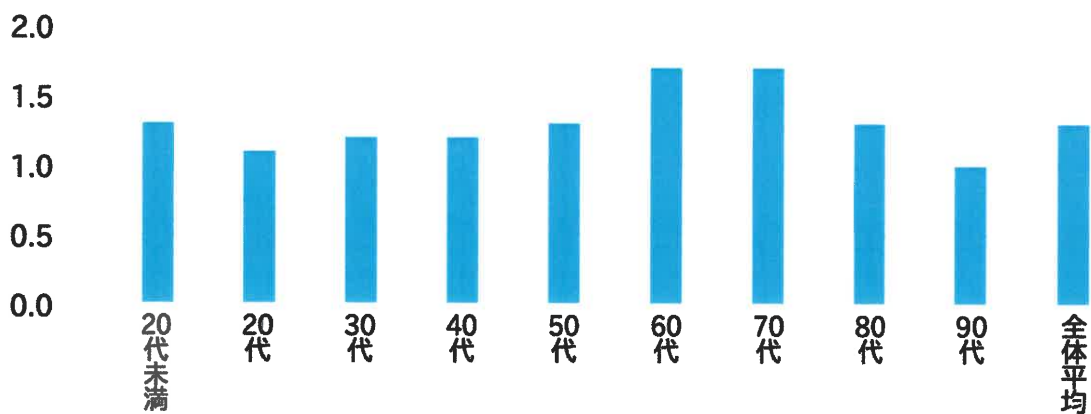
### ③活動目標3 できないことをほっとけない！ 社会福祉法人や商工会、ボランティア団体 などとの連携を図ります

困りごとを解決していくための支援をするには、様々な団体やボランティアなどの力を合わせる必要があります。ボランティアの育成を図るとともに、これまでは十分な関わりがなかった団体との連携を深め、できないことをしていくための工夫をします。

#### ■アンケートから見た課題

- ・20～40代の若い世代では、ボランティア活動に参加している人の割合が低い。ボランティア活動に参加するきっかけがない人、参加方法が分からない人、ボランティアの内容を知らない人が多い。

#### ボランティア活動への参加割合の平均点



☆よく参加している（月1回以上）を3、少し参加している（月1回未満）を2、ほとんど（もしくは全く）参加していないを1として計算しました。

- ・以前よりも仕事をする年齢が高くなったため、ボランティアなどに協力してもらうことが難しくなっている。
- ・高齢者が活躍できる場が少ない。そのような場や機会を作ることによる、介護予防や収入につながるようなシステムづくりを求める声もある。

平成30年の西日本豪雨災害では、多可町からのボランティアとして高校生も活躍しました。



## ■課題に対して取り組むこと

実施内容	推進目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をしながらでも参加しやすいボランティア活動を創出し、ボランティア活動の啓発を行う。</li> </ul> <p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; display: inline-block;">具体的には…</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>家族で一緒に参加してもらい、<b>ボランティア活動に慣れ親しんでもらうこと</b>を目的として、土曜日もしくは日曜日に、<b>朗読・古切手再生体験</b>を開催します。</p> </div> 	きづく
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブへの啓発を行い、元気な高齢者の参画を促す。啓発ポイントとしては、参画をすることが健康寿命の延伸や認知症予防、社会貢献による生きがいづくりにもつながることなど。</li> </ul>	きづく
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多可町での大規模災害時に対応できる<b>災害ボランティアセンター（※9）</b>の開設や運営の準備、災害ボランティアの登録などを行う。</li> </ul>  <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>町の防災訓練に合わせて災害ボランティアセンターの開設・運営の訓練をすることもあります。</p> </div>	ささえる
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人や商工会と連携した活動など、<b>町内の様々な団体等との関わり</b>を生かした活動を検討する。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・介護・福祉の多くの関係機関が参加している地域包括ケアネットワークなど、多機関が参加する会議へ積極的に参加し、<b>他機関との連携を強化</b>する。</li> </ul>	—

## ■策定委員からのメッセージ

人の役に立つことをしたいと思っている人は若い人にも多くいるはず。声かけやボランティアの内容の必要性を伝えれば、多くのボランティアが参加してくれると思う。



**災害ボランティアセンター（※9）**：災害ボランティアが円滑かつ効率的に活動を行うことができるように調整する機関。多くの場合は、社会福祉協議会がその運営の中核的な役割を担う。

④活動目標4 知らない人をほっとけない！関わりの薄い層への啓発

⑤活動目標5 ほっとけない！の積み重ね。

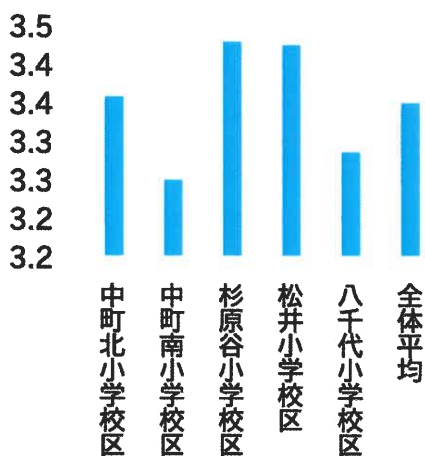
住民から信頼される職員と組織づくり

知らないことで必要な支援に結びつかないこともあります。また、困りごとを解決していくための支援をするには、**財源を確保していく**ことも必要です。社協と関わるのが少ない方への**新たな情報発信**を行います。また、日々の業務をとおして、住民のみなさんから**信頼していただける職員、組織**になります。

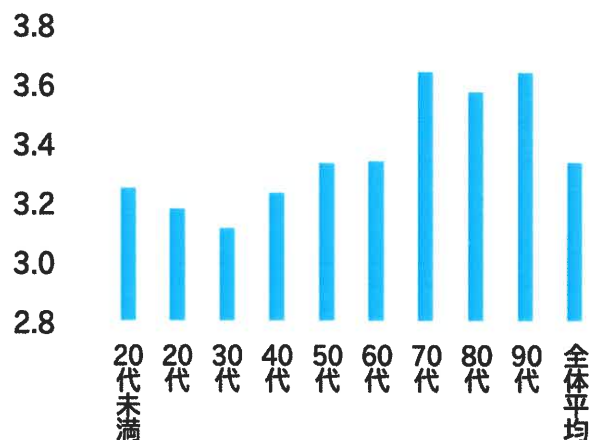
## ■アンケートから見た課題

- ・社協活動への評価では、**30代は全ての項目で最も評価が低い**。その周辺の世代も評価が低い項目が多い。また、全ての項目で中町南小学校区の評価が最も低い。

小学校別の評価点



年代別の評価点



☆1～5の5段階で、値が高いほど評価が高くなります。

- ・社協がどのような組織でどのような活動をしているか**知らない人が多い**。特に、20～40代の若い世代は「どちらでもない」と回答している割合が高く、記述欄の内容からも知らない人が多いように思われる。

### 《「どちらでもない」と回答している割合》

・全年齢：61.3%、20～40代：**68.8%**

- ・社協だよりの内容がいつも一緒なので年3～4回の発行で良い、**内容も分かりにくい**という意見がある。
- ・**社協会費や共同募金の徴収方法や使途について疑問視**をする意見がある。




## ■課題に対して取り組むこと

実施内容	推進目標
<p>・ SNSによる発信では、FacebookやTwitterに加え、<b>LINEの導入</b>を検討する。また、発信時には#（※10）を入れ、行政のSNSとの連携やそれぞれの媒体の公式アカウントへの登録の口コミを行う。さらに、ボランティア研修会や老人クラブのスマホ教室などの際に、登録方法の説明を行い、その場で登録をしてもらう。</p> 	きづく
<p>・ 社協だより多可の表紙に、その月に<b>一番知ってほしい内容を掲載</b>する。</p>	きづく
<p>・ 社協会費や共同募金がどのような趣旨・用途なのかをさらに分かりやすく、<b>広報やSNSで発信</b>する。</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p>共同募金はこのように使わせていただいております。</p>  </div>	きづく
<p>・ <b>職員の確保や専門性の向上</b>に努める。また、内部研修、外部研修を積極的に活用する。</p>	—
<p>・ 住民や関係団体、行政関係者など幅広い分野の地域住民による理事会や評議員会、地域福祉推進委員会を開催し、<b>住民が主体となった社協活動</b>を推し進める。</p>	—

## ■策定委員からのメッセージ

自分で調べたり聞いたりして、初めて「そんなサービスあるのか」と知ったことがよくある。必要とされている方に必要な情報が届いていないのでは？ 高齢の方や不自由を抱えている方には、社協からアウトリーチ（※11）することも大事だと思う。

行政のLINEからは頻繁に新しい情報が入ってくる。若い世代にはLINE。社協もぜひLINEをするべき。



**#（※10）**：SNSなどへの投稿に付与される短い標識の一種で、分類や対象、話題などを明示して他の利用者から検索しやすくするためのもの。例えば、「#社協」と検索すると、社協についての投稿をまとめて見ることができる。

**アウトリーチ（※11）**：支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けること。

## ⑥コラム1 社協の進める協議体づくりや学校向け福祉学習

社協では、地域にある身近な生活課題に住民が気づき、解決に向けて話し合う、そんな学びの機会として、集落のみなさんと一緒に福祉学習を行っています。

### ■集落での福祉学習では宝物マップづくりを実施してきました。

#### 宝物マップづくりって何？

集落内にある宝物を書き込んだ地図のことを宝物マップと言います。宝物とは、**住民が集まる場所や近所付き合い、支え合い**のことで、例えば、ふれあいいきいきサロン、元気あっぷ広場、グラウンドゴルフ、集落行事、おすそわけなどが挙げられます。

宝物マップづくりをすることで、**集落を見直すきっかけやみんなで支え合う雰囲気づくり**につながる、という効果があります。さらに、集落内の世帯状況や避難区分を事前に整理しておくことで、避難の声かけや避難支援等の防災・減災にも役立つという効果もあります。

#### 宝物マップづくりに取り組みされた方の感想

住民それぞれが「自分の家は大丈夫」との思いを持っている中、どのように避難を促していけばいいのかなど悩みがあります。しかし、**これを機会にみんなで話し合い**、どのようにすれば迅速に避難できるのかについて話し合っていきたいと思えます。

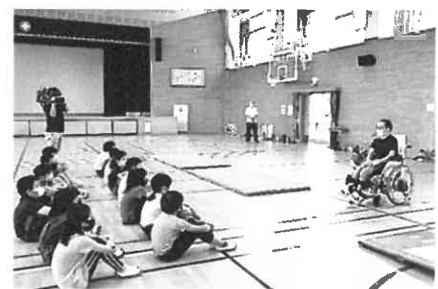


これまでに20を超える集落で実施してきました。

また、福祉学習は小学校でも実施しています。子どもの頃から福祉に関心を持ち、ボランティア活動や障害のある方の思いについて知ることとおして、気づきやきっかけになると考えています。

### ■令和2年度 小学校で取り組んだ内容

ボランティア学習(5)、高齢者擬似体験(5)、車いす体験(5)、手話体験(4)、手話歌学習(2)、点字体験(5)、アイマスク体験(5)、サウンドテーブルテニス体験(2)、朗読体験(0)、地震から身を守る学習(1)、講師へのお礼収録(1)、福祉学習調査隊(1)、知的・発達障がい擬似体験(0)  
※( )内は開催回数です。延べ36回実施しました。



どの小学校も4年生の一年間に福祉学習に取り組みられています。

### ■学習した児童の感想より（一部抜粋）

「声をかけずに急に前に進んだり曲がったりすると車いすに乗っている人がびっくりするので、私も実際に乗って、声をかけるのは大切なんだなと思いました」

「アイマスク体験をやってみると怖くて全然進めなかったけど、赤沼さん（視覚障害のある講師）は目が見えるみたいに歩くことができてすごいなと思いました」

## ⑦コラム2 “子育て世代が集まる場”から“誰でも集える場”へ

子育て世代や高齢者、介護者など、誰もが普段から当たり前のよう集まることのできる場があれば、**顔の見える関係づくり**や**相談しやすい環境づくり**にもつながります。ここでは、加美区山口集落にある“子育て世代が集まる場”を紹介します。



### 山口ってどんな集落？子育て世代が集まる場所とは？

加美区山口は、35世帯人口135人、町内でも規模の小さな集落です。その内、中学生までの子どもの人数はなんと20人。とても**大勢の子どもがいる**集落となっています（人数はいずれも令和3年2月1日現在）。

その子どもたちが学校や子ども園から帰ってくる午後3時～4時の間には、集落の公民館に保護者が集まり、話をされることで、**交流や相談の場**になっています。帰ってきた子どもたちは、そのまま公民館や横のグラウンドで遊んでいます。

### 子育て世代が多くなっていることには理由があります

これほど多くの子育て世帯がおられるのには理由があります。元々、現在の30～40歳代が多かったのですが（集落のベビーブーム）、一度町外へ出て、子どもが生まれてから集落に帰ってきたリターン世帯が多くあります。また、その内3世帯は妻が夫を連れて帰ってきている世帯であり、その効果も大きいようです。

町外から集落に来られた方が、**集落になじむこと**も必要です。そういった方のためにも、年3回の集落行事で集落の温かさに触れることや、同じ立場で先に集落になじんでいる方がおられることが、とても大きな支えになっている、とも言われていました。

そして、忘れてはならないのが、**生まれ育ったこの集落が好きという気持ち**と、その集落で**親世代と一緒に住むことが当たり前と言う意識**。結婚後、一度は集落から出ることはあっても、数年後には集落に帰ってくる**ことが当たり前という意識のある方が多く**おられるそうです。

### ■ここがいいね♪

策定委員会では、「集落の公会堂が**学童保育の場**になっても良いのでは」という意見もありました。保護者が迎えに来られるまで集落の高齢者が一時的に預かってくれる、そんな支え合いができれば、“**子育てしやすい多可町**” “**誰もが集うことができ、相談しやすい多可町**”になるはずです。



山口集落の風景です。山裾にあるのどかな集落ですね。

## 8コラム3 住民主体グループの助け合い活動

この数年の間に、身近なつながりを生かした住民主体グループによる助け合い活動が始まっています。ここでは、八千代区内の高齢者を支援されている“**ちょいボラグループやちよお助け隊**”を紹介します。

質問形式でお話をうかがいました。

### Q やってみよう！と思ったきっかけは何ですか？

A 社協八千代支部の地域福祉推進委員の活動がきっかけで、生活での小さな困りごとを抱えている高齢者がたくさんいることに気づいたメンバーが中心になり、**自分たちができる“ちょっとしたボランティア（＝ちょいボラ）”をやってみよう**と平成30年度に結成しました。現在は約20名で活動しています。

### Q 具体的にはどんなことをしていますか？

A 初めは草引きの依頼が中心でしたが、車での移動支援もしてほしいという声に応じて、病院、美容院、買い物の送迎や付き添いの活動も始めました。他にも、掃除やゴミ出しなどいろいろな活動をしています。

### Q 実際に活動してどのように感じますか？

#### 良かったこと

グループ内の仲も良く、みんなで笑いながら楽しく活動できています。

この活動をしていることで、よく感謝の声をいただきます。体を動かすことが運動にもなって私たちの健康にもつながっているとも思います。

活動者にも利用者にも、**お互いうれしい関係**です。

#### 利用者さんからの声

高齢になり、入退院を繰り返す内に身のまわりのことができにくくなってしまいました。

「ちょいボラ」には草引きや通院など、いろんなことでお世話になっています。

来てくれる方々もいい方ばかりで、**本当に感謝**しています。

### ■ここがいいね♪

生活していく上でちょっとした困りごとを「困った」「助けて」と相談でき、地域内での助け合い活動をするこのようなグループや活動者がもっと多可町に増えれば、団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題も乗り越えられと感じました。



一緒に活動してもらえる方も募集しています。



## ◎コラム4 介護保険と地域資源を組み合わせた新しい暮らしぶり

通所介護や訪問介護などの介護保険サービスの利用が始まると、逆に身近な見守りやつながりを失ってしまうこともあります。ここでは、**介護保険サービスと集落にあるつながりや支え合い（＝地域資源）を生かしながら暮らされている方**の事例を紹介します。



**Aさん / 70歳代後半 / 女性 / 加美区的場在住**

Aさんは一人暮らしをされています。以前に大きな病気をされたこともあり、介護保険サービスで買い物支援や自宅内の掃除などを行うホームヘルパーの生活支援などを利用しながら生活されています。また、病気をされたことをきっかけに自動車の運転免許を返納し、子どもが遠方に住んでいるため病院への受診は兄弟に送迎をしてもらっていますが、兄弟も高齢のため負担をかけていると気にされていました。タクシーを利用されることもありますが、「病院行きばかり…」と悔やまれていました。

**的場支え合う会を利用することに**

そんな中、高齢化が進んでいく中で一人暮らしになっても足腰が弱っても**全ての人が安心しての場集落で生活できること**を目的として、平成29年に“**的場支え合う会**”が発足しました。令和2年9月からは通院のための送迎を始められたため、一人暮らしをされているAさんにも会からのお知らせが届き、病院の送迎や銀行などへの外出を助けてもらっています。

また、会から「何か困ったようなことはないですか？」と声をかけてもらい、**介護保険サービスではなかなか解決できなかった家まわりのことにも**すぐに対応してもらえるようになりました。

的場支え合う会や民生委員・児童委員、近隣の方が**気にかけて声をかけられることが**、女性で一人暮らしのAさんにとって**心強いサポート**になっています。Aさんは、「一人暮らしをしている者にとって、近所でこのような助け合うつながりがあるのは本当にありがたいです」と**地域での支え合い、つながりの大切さと感謝の気持ち**を話されました。

住み慣れた場所で一人暮らしを継続していく上で、介護保険サービスだけでは対応できない移送の問題や一人暮らしの孤独の解消などの部分を、**集落の中での声かけや助け合う仕組みができることで大きなサポート**となっていると感じました。

### ■ここがいいね♪

集落などの身近な関係での支え合い活動をすることで、普段の見守りにもつながることがよく分かる事例です。そのつながりが、災害などの非常時にも効果を発揮します。



声かけは、自分から「助けて」と言えない方を見過ごさないことにもつながります。



## 第4章 参考資料

### 1 統計データで見る多可町の現状

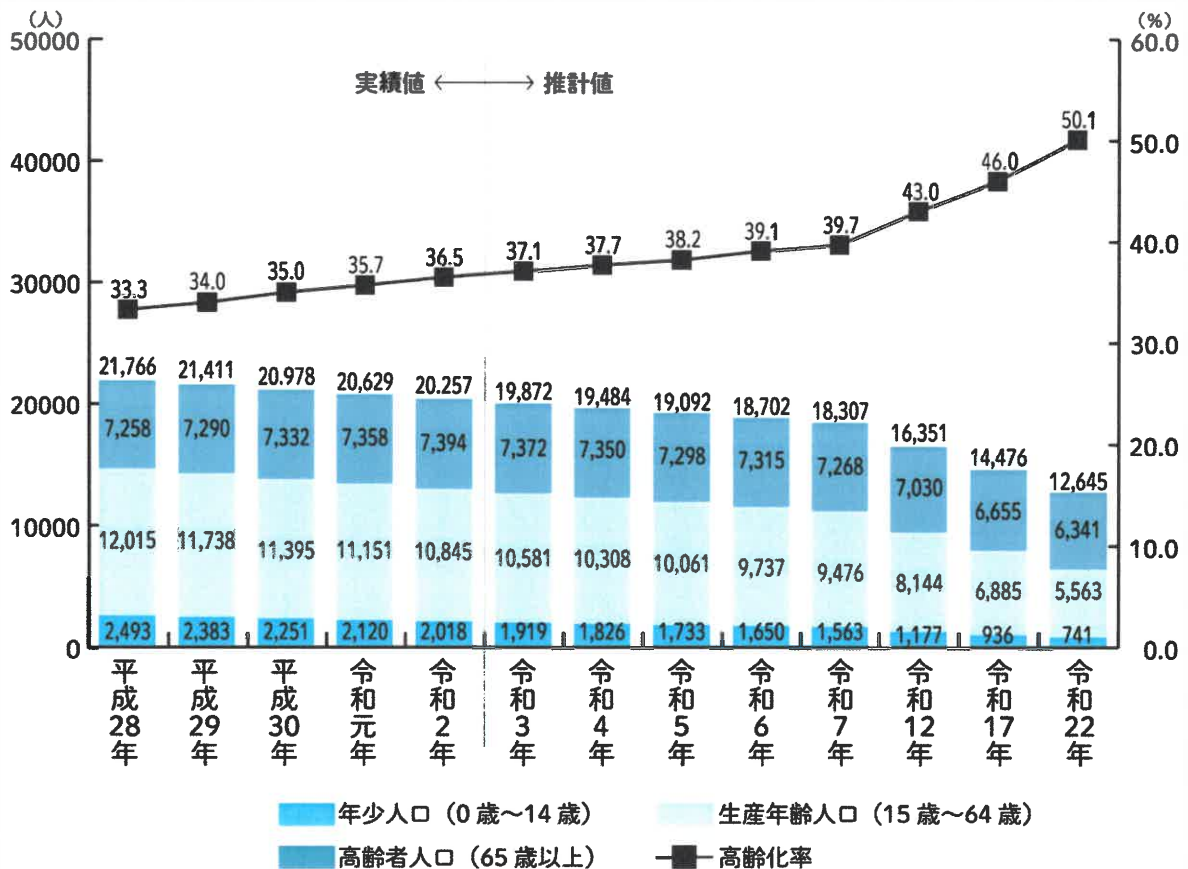
#### 多可町の年齢3区分別人口の推移

多可町の総人口は年々減少しており、令和2年に20,260人となっています。一方で高齢者人口（65歳以上の人口）は微増を続け、高齢化率（※12）もゆるやかに増加しており、令和2年に**36.5%**となっています。

人口の将来推計を見ると、高齢者人口は令和2年がピークとなり、以降は減少しますが、**総人口及び生産年齢人口（15歳～65歳未満の人口）が急速に減少することから**、高齢化率は増加を続け、令和7年に高齢者人口が7,268人、高齢化率が39.7%、令和22年に高齢者人口が6,341人、**高齢化率が50.1%**になることが見込まれています。

また、令和22年以降は**高齢者人口が生産年齢人口を上回る**ことが見込まれています。

図表1：年齢3区分別人口の推移と推計



資料：実績は住民基本台帳（各年10月1日現在）、推計は住民基本台帳を基にコーホート変化率法で算出

**高齢化率（※12）**：総人口における65歳以上の人口（高齢者人口）が占める割合のこと。その社会や国の人口の高齢化を示す指標として用いられる。

## 前期高齢者、後期高齢者の推移

多可町の高齢者人口の内訳を見ると、前期高齢者（65歳～74歳）は減少傾向となっており、令和2年で3,314人となっています。一方で後期高齢者（75歳以上）は年々増加し、令和2年で4,080人となっています。

人口の将来推計を見ると、前期高齢者は令和17年まで減少傾向、後期高齢者は令和12年まで増加傾向が続きますが、後期高齢化率（※13）は令和22年まで一貫して増加傾向となっています。

図表2：前期高齢者、後期高齢者の推移と推計



資料：実績は住民基本台帳（各年10月1日現在）、推計は住民基本台帳を基にコーホート変化率法で算出

## 高齢者世帯数の推移（単身、夫婦のみ、高齢者を含む世帯数）

一般世帯は、平成27年で6,642世帯と、平成17年の6,646世帯に比べ世帯減少しています。また、**高齢者単独世帯と高齢夫婦のみの世帯割合は年々増加**しています。

図表3：高齢者世帯数の推移（単身、夫婦のみ、高齢者を含む世帯数）

項目	平成17年	平成22年	平成27年
一般世帯	6,646世帯	6,686世帯	6,642世帯
高齢単独世帯	411世帯	479世帯	665世帯
高齢夫婦のみの世帯	519世帯	644世帯	850世帯
高齢単独世帯の割合	6.2%	7.2%	10.0%
高齢夫婦のみの世帯の割合	7.8%	9.6%	12.8%

資料：国勢調査

後期高齢化率（※13）：総人口における75歳以上の人口（後期高齢者人口）が占める割合のこと。

## 2 「第4次地域福祉推進計画」策定における住民アンケートの結果

令和2年7月から9月にかけて、町内在住者を対象としたアンケート調査を行いました。生活の中の困りごとや近所付き合いの状況、社協活動への評価などを把握することができ、第4次地域福祉推進計画を策定する基礎資料となりました。ご協力いただき、ありがとうございます。

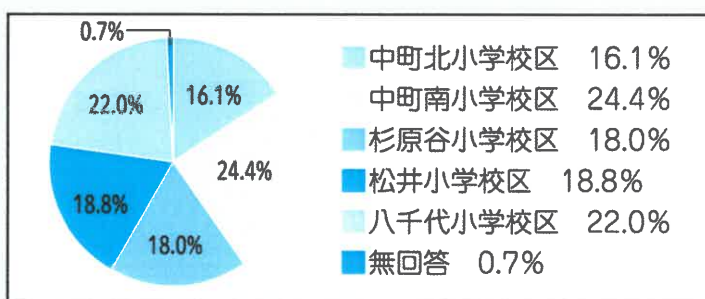
### ■アンケートの設問と結果

#### 1. あなたご自身のことについてお聞きします。

##### (1) あなたのお住いの地区はどこですか。

###### 回答者の居住小学校区

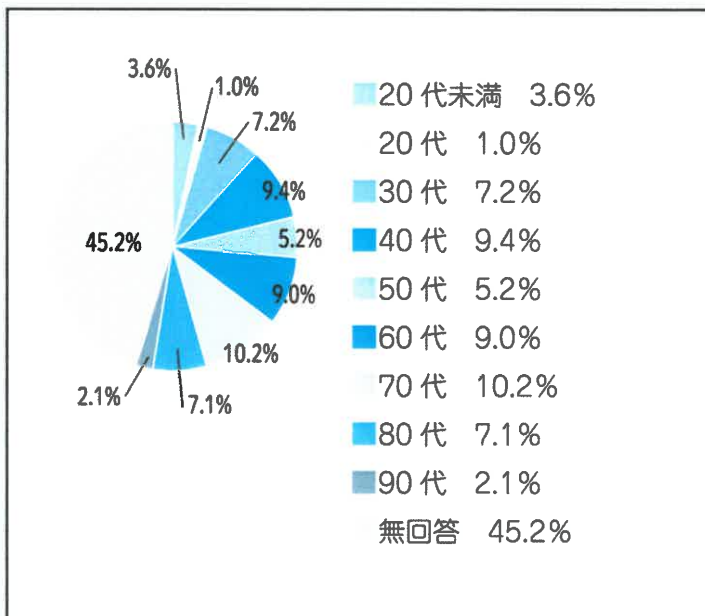
小学校区	回答数
中町北小学校区	280
中町南小学校区	424
杉原谷小学校区	313
松井小学校区	326
八千代小学校区	383
無回答	12
合計	1,738



##### (2) あなたの性別・年齢を教えてください。

###### 回答者の性別

性別	回答数
男性	785
女性	924
無回答	29
合計	1,738



###### 回答者の年代

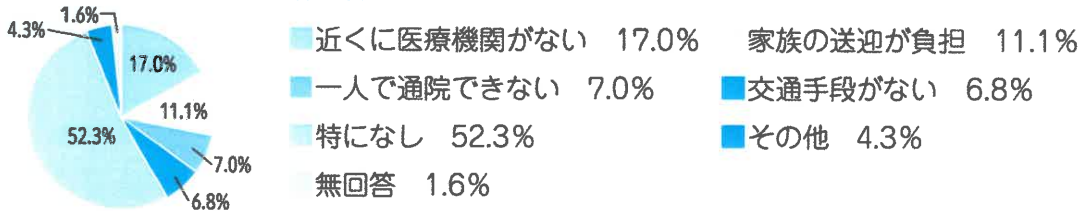
年代	回答数
20代未満	62
20代	18
30代	126
40代	163
50代	91
60代	156
70代	177
80代	123
90代	37
無回答	785
合計	1,738

(3) あなたが困っていること、不自由に感じていることはありますか。  
 ※当てはまるものの番号全てに○を付けてください。

通院に関する困りごと（複数可）

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
近くに医療機関がない	338	136	195	7	40	56	75	74	90	3	4	2	41	53	21	25	16	14	1	161
家族の送迎が負担	221	88	132	1	30	42	50	36	63	0	11	1	12	17	14	7	19	30	12	98
一人で通院できない	140	60	79	1	27	27	37	27	20	2	5	2	1	2	3	3	15	37	20	52
交通手段がない	135	60	72	3	33	21	21	19	39	2	9	1	3	7	6	5	13	24	6	61
特になし	1,041	505	524	12	180	294	161	192	210	4	39	14	73	97	55	117	130	54	7	455
その他	85	28	56	1	12	14	20	25	13	1	0	1	8	5	1	10	13	13	9	25
無回答	32	10	17	5	4	10	4	3	7	4	1	0	1	0	1	1	3	1	0	24
合計	1,992	887	1,075	30	326	464	368	376	442	16	69	21	139	181	101	168	209	173	55	876
特になしの割合(%)	61.0	65.2	57.8	50.0	65.2	71.0	52.1	59.4	55.9	50.0	63.9	77.8	58.4	59.5	61.1	75.5	74.7	44.3	18.9	59.8

通院に関する困りごとの全体割合



買い物に関する困りごと（複数可）

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
近隣に店がない	450	191	251	8	60	64	113	61	147	5	23	7	49	58	20	22	27	33	8	203
一人で買い物に行けない	124	42	79	3	25	22	27	24	25	1	7	0	2	1	2	3	12	35	17	45
交通手段がない	106	51	54	1	23	15	19	19	28	2	8	0	2	3	3	4	13	21	5	47
特になし	1,086	531	543	12	190	314	169	215	195	3	33	10	68	101	65	127	130	54	12	486
その他	92	31	60	1	16	18	19	25	14	0	0	1	8	4	2	8	13	16	10	30
無回答	36	10	22	4	4	10	5	5	8	4	0	0	1	1	1	2	3	2	1	25
合計	1,894	856	1,009	29	318	443	352	349	417	15	71	18	130	168	93	166	198	161	53	836
特になしの割合(%)	63.8	68.5	60.2	48.0	68.8	75.8	54.9	67.0	52.0	37.5	53.2	55.6	54.4	62.3	72.2	82.5	74.7	44.6	33.3	63.9

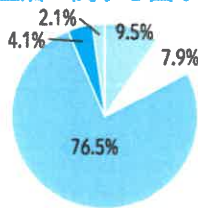
買い物に関する困りごとの全体割合



## 食生活に関する困りごと（複数可）

	全体	性別			居住小学校区					年代										
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
食材の確保	170	79	85	6	30	30	38	21	48	3	6	1	12	13	8	7	12	31	5	75
調理できない	141	85	55	1	24	28	33	20	34	2	4	1	3	2	7	8	16	27	11	62
特になし	1,370	606	746	18	218	351	230	266	301	4	54	15	105	144	73	137	141	65	18	618
その他	74	28	46	0	15	9	19	23	8	0	0	1	4	5	3	6	7	14	11	23
無回答	37	13	20	4	2	11	8	5	7	4	0	0	2	1	1	2	6	2	0	23
合計	1,792	811	952	29	289	429	328	335	398	13	64	18	126	165	92	160	182	139	45	801
特になしの割合(%)	80.5	78.5	82.5	72.0	78.4	85.0	75.4	82.9	80.1	50.0	87.1	83.3	84.7	88.9	81.1	89.0	82.5	53.7	48.6	81.1

食生活に関する困りごとの全体割合



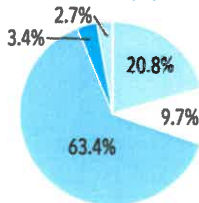
■食材の確保 9.5%  
 ■特になし 76.5%  
 ■無回答 2.1%

■調理できない 7.9%  
 ■その他 4.1%

## 健康に関する困りごと（複数可）

	全体	性別			居住小学校区					年代										
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
運動の機会がない	375	158	214	3	65	107	68	56	79	0	8	10	39	38	29	28	20	27	6	170
栄養のかたより	175	82	87	6	32	39	34	27	41	2	2	3	11	13	13	7	19	18	1	88
特になし	1,143	529	598	16	181	271	203	223	258	7	52	8	78	112	49	117	129	66	20	512
その他	62	26	36	0	12	13	10	16	11	0	0	0	2	3	3	4	12	12	8	18
無回答	48	16	27	5	6	12	6	11	9	4	0	0	1	1	1	2	5	7	3	28
合計	1,803	811	962	30	296	442	321	333	398	13	62	21	131	167	95	158	185	130	38	816
特になしの割合(%)	67.6	68.8	66.7	66.7	66.1	65.8	66.1	70.8	69.0	87.5	83.9	44.4	62.4	69.1	54.4	76.0	75.0	56.9	58.8	67.6

健康に関する困りごとの全体割合



■運動の機会がない 20.8%  
 ■特になし 63.4%  
 ■無回答 2.7%

■栄養のかたより 9.7%  
 ■その他 3.4%

## 子育てに関する困りごと（複数可）

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
子どもの遊び相手がない	142	63	77	2	24	17	25	34	39	3	3	1	22	31	3	8	2	0	0	72
情報の収集先が分からない	71	38	31	2	12	23	6	17	12	1	1	1	8	9	4	3	3	0	0	42
協力者・相談者がいない	38	18	20	0	5	12	5	6	9	1	1	0	5	3	2	2	3	2	0	20
特になし	1,274	577	680	17	200	326	244	231	270	3	53	16	88	113	72	132	129	73	24	574
その他	109	40	68	1	22	22	22	23	18	2	2	1	11	11	8	5	14	7	3	47
無回答	161	71	83	7	27	33	23	28	44	6	2	0	1	2	2	12	30	42	11	59
合計	1,795	807	959	29	290	433	325	339	392	16	62	19	135	169	91	162	181	124	38	814
特になしの割合(%)	80.8	80.8	80.9	77.3	79.1	83.4	84.1	77.5	79.6	50.0	88.3	88.9	70.4	70.2	80.9	91.7	87.8	90.1	92.3	79.1

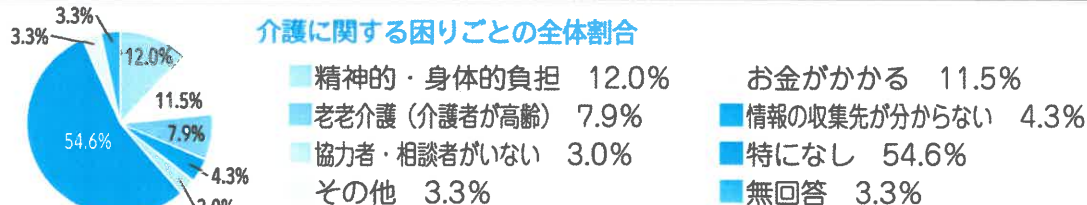
子育てに関する困りごとの全体割合



## 介護に関する困りごと（複数可）

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
精神的・身体的負担	245	106	135	4	28	66	57	34	58	2	3	2	20	21	23	23	18	14	2	119
お金がかかる	235	111	120	4	40	60	44	32	56	3	5	3	18	22	16	22	13	15	3	118
老老介護（介護者が高齢）	161	94	67	0	26	30	38	26	41	0	1	0	4	5	3	17	26	26	9	70
情報の収集先が分からない	87	36	47	4	17	25	11	8	25	1	0	0	10	11	6	4	5	6	0	45
協力者・相談者がいない	62	33	28	1	10	18	8	12	13	1	1	0	6	4	4	1	4	8	1	33
特になし	1,111	506	591	14	188	285	193	220	221	4	55	14	89	115	53	100	116	64	17	488
その他	68	26	42	0	9	10	13	14	22	0	1	1	5	3	1	4	14	6	8	25
無回答	67	24	39	4	7	16	11	13	16	4	2	0	1	1	2	2	7	13	2	37
合計	2,036	936	1,069	31	325	510	375	359	452	15	68	20	153	182	108	173	203	152	42	935
特になしの割合(%)	66.5	66.5	66.8	56.0	68.9	69.9	63.9	70.3	60.2	50.0	91.7	77.8	71.2	71.0	59.6	64.9	68.2	58.2	48.6	65.2

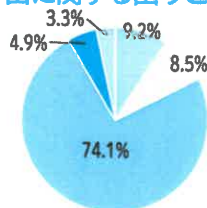
介護に関する困りごとの全体割合



## 外出に関する困りごと（複数可）

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
交通手段がない	166	76	86	4	28	32	33	26	44	3	18	1	12	11	7	6	9	21	8	73
一人で外出できない	154	56	97	1	25	25	43	28	32	1	4	1	2	2	2	5	17	45	16	60
特になし	1,342	622	700	20	219	346	230	255	287	5	42	15	106	145	75	141	142	57	14	605
その他	89	35	54	0	14	16	24	20	15	0	0	1	7	6	3	5	13	15	8	31
無回答	59	27	28	4	12	14	6	9	15	3	0	0	1	2	4	4	5	6	2	35
合計	1,810	816	965	29	298	433	336	338	393	12	64	18	128	166	91	161	186	144	48	804
特になしの割合(%)	79.9	82.1	78.1	80.0	81.7	84.4	74.9	80.4	78.0	55.6	67.7	83.3	84.8	90.1	86.2	92.8	82.6	48.7	40.0	80.7

外出に関する困りごとの全体割合



交通手段がない 9.2%

一人で外出できない 8.5%

特になし 74.1%

その他 4.9%

無回答 3.3%

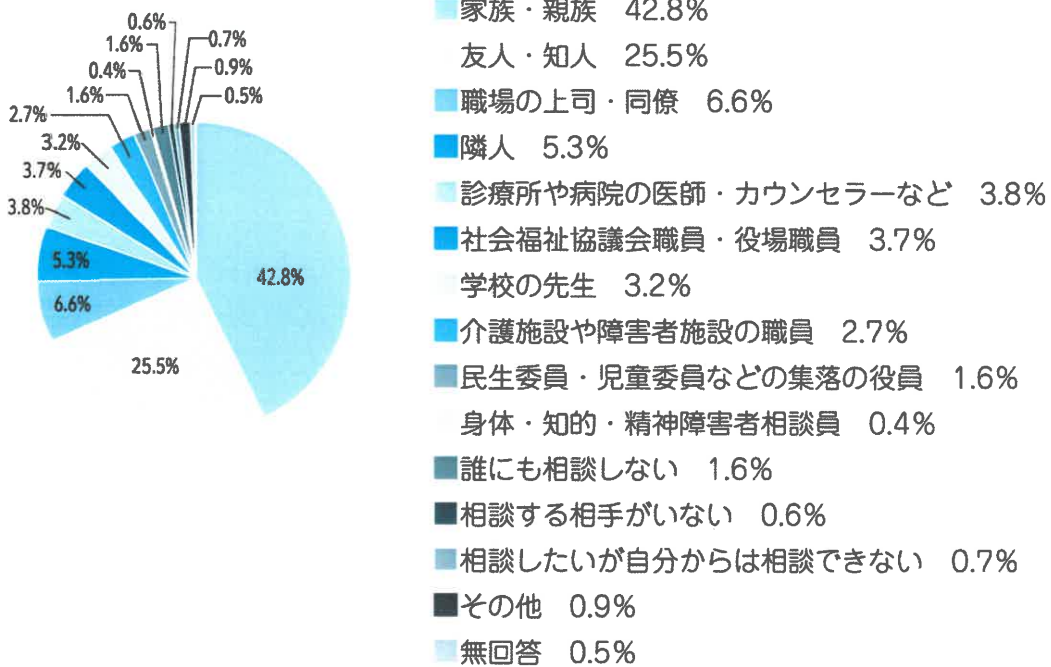


(4) 悩みごとや困ったとき、あなたは誰に相談していますか。  
 ※当てはまるものの番号全てに○を付けてください。

悩みごとがあったとき、困ったときの相談先（複数可）

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
家族・親族	1,544	671	855	18	246	374	283	292	344	5	50	17	122	149	77	137	155	102	35	700
友人・知人	918	336	568	14	144	240	139	168	223	4	39	12	99	113	46	82	75	24	3	425
職場の上司・同僚	238	69	167	2	37	68	35	42	56	0	0	7	43	45	12	7	3	0	0	121
隣人	192	90	102	0	30	31	44	45	41	1	0	2	10	16	10	28	25	21	5	75
診療所や病院の医師・カウンセラーなど	137	63	73	1	21	33	34	27	21	1	2	0	8	7	5	20	18	18	5	54
社会福祉協議会職員・役場職員	135	75	59	1	19	24	50	28	14	0	0	1	2	7	8	20	20	15	4	58
学校の先生	114	21	90	3	18	28	12	24	31	1	16	1	20	23	1	1	2	0	0	50
介護施設や障害者施設の職員	99	46	52	1	17	21	25	12	22	2	0	0	1	1	3	14	15	18	4	43
民生委員・児童委員などの集落の役員	59	38	21	0	12	9	11	13	13	1	0	0	1	0	2	12	7	14	2	21
身体・知的・精神障害者相談員	16	9	7	0	0	10	2	1	2	1	0	1	2	1	1	1	0	1	0	9
誰にも相談しない	59	38	17	4	9	19	8	8	13	2	6	0	1	5	4	7	4	4	0	28
相談する相手がない	20	15	5	0	1	6	4	4	4	1	0	0	0	2	3	1	3	2	1	8
相談したいが自分からは相談できない	24	11	13	0	6	7	2	4	5	0	1	0	1	1	0	2	1	2	1	15
その他	32	16	16	0	7	7	5	9	4	0	0	0	3	1	2	5	5	5	0	11
無回答	19	9	6	4	5	3	1	4	3	3	1	0	0	0	1	1	1	3	0	12
合計	3,606	1,507	2,051	48	572	880	655	681	796	22	115	41	313	371	175	338	334	229	60	1,630

悩みごとがあったとき、困ったときの相談先の全体割合

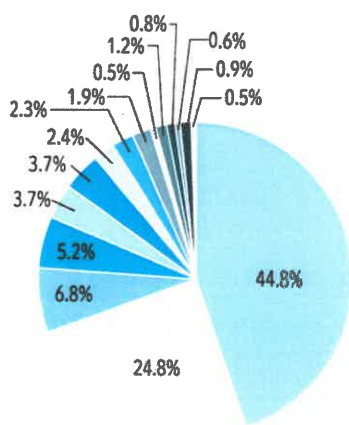


(5) 悩みごとや困ったとき、あなたは助けを求められる人がいますか。  
 ※当てはまるものの番号全てに○を付けてください。

悩みごとがあったとき、困ったときの助けの求め先（複数可）

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
家族・親族	1,581	691	871	19	253	380	292	298	353	5	52	17	118	151	79	141	161	112	35	715
友人・知人	876	337	524	15	141	220	135	158	218	4	38	12	87	111	47	79	75	28	3	396
隣人	239	122	116	1	40	46	52	54	46	1	0	1	12	18	17	33	35	27	7	89
職場の上司・同僚	184	56	127	1	25	55	28	37	39	0	0	2	32	35	11	6	1	0	0	97
社会福祉協議会職員・役場職員	130	63	66	1	22	23	38	28	18	1	0	1	5	3	5	19	18	20	4	55
診療所や病院の医師・カウンセラーなど	129	59	69	1	29	26	28	24	21	1	2	1	9	4	4	20	14	16	7	52
介護施設や障害者施設の職員	86	40	45	1	10	16	25	13	20	2	0	0	0	1	4	16	13	17	5	30
学校の先生	82	16	65	1	12	24	10	15	21	0	15	1	13	15	0	0	2	0	0	36
民生委員・児童委員などの集落の役員	67	48	19	0	15	12	10	19	11	0	0	0	2	0	4	16	9	13	2	21
身体・知的・精神障害者相談員	16	6	10	0	0	10	1	2	2	1	1	0	2	0	2	0	0	1	0	10
誰にも助けを求めない	43	27	11	5	5	13	6	6	12	1	3	0	1	5	4	7	1	0	0	22
助けを求める相手がない	28	16	12	0	4	9	2	5	7	1	1	0	4	1	3	4	6	1	0	8
助けを求めたいが自分からは助けを求められない	22	11	11	0	5	8	2	3	4	0	1	0	2	0	1	0	5	2	0	11
その他	31	15	16	0	5	6	7	10	3	0	0	0	0	2	3	5	1	6	0	14
無回答	18	10	5	3	4	3	0	5	2	4	1	0	0	0	1	1	2	2	1	10
合計	3,532	1,517	1,967	48	570	851	636	677	777	21	114	35	287	346	185	347	343	245	64	1,566

悩みごとがあったとき、困ったときの助けの求め先の全体割合



- 家族・親族 44.8%
- 友人・知人 24.8%
- 隣人 6.8%
- 職場の上司・同僚 5.2%
- 社会福祉協議会職員・役場職員 3.7%
- 診療所や病院の医師・カウンセラーなど 3.7%
- 介護施設や障害者施設の職員 2.4%
- 学校の先生 2.3%
- 民生委員・児童委員などの集落の役員 1.9%
- 身体・知的・精神障害者相談員 0.5%
- 誰にも助けを求めない 1.2%
- 助けを求める相手がない 0.8%
- 助けを求めたいが自分からは助けを求められない 0.6%
- その他 0.9%
- 無回答 0.5%

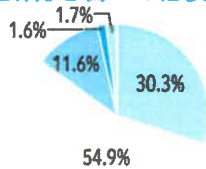
## 2. 近所付き合いについてお聞きします。

### (1) 近所付き合いを必要と感じられていますか。

	全体	性別			居住小学校区					年代										
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
とても必要と感じている(4)	526	301	218	7	89	107	116	110	100	4	15	0	13	27	24	73	88	58	15	213
まあまあ必要と感じている(3)	955	378	562	15	148	241	164	171	230	1	37	14	85	114	54	75	77	58	16	425
あまり必要ないと感じている(2)	201	81	117	3	33	60	26	35	44	3	7	3	24	20	13	7	5	3	2	117
全く必要ないと感じている(1)	27	13	13	1	5	7	3	7	3	2	1	1	3	2	0	1	4	0	1	14
無回答	29	12	14	3	5	9	4	3	6	2	2	0	1	0	0	0	3	4	3	16
合計	1,738	785	924	29	280	424	313	326	383	12	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.2	3.3	3.1	3.1	3.2	3.1	3.3	3.2	3.1	2.7	3.1	2.7	2.9	3.0	3.1	3.4	3.4	3.5	3.3	3.1

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

#### 近所付き合いの必要性の全体割合



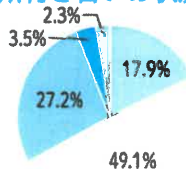
- とても必要と感じている 30.3%
- まあまあ必要と感じている 54.9%
- あまり必要ないと感じている 11.6%
- 全く必要ないと感じている 1.6%
- 無回答 1.7%

### (2) 近所付き合いの状況はいかがですか。

	全体	性別			居住小学校区					年代										
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
とても親しく付き合っている(気軽に相談できる程度)(4)	311	155	148	8	55	62	68	65	59	2	11	2	6	25	13	37	49	37	8	123
ある程度親しく付き合っている(立ち話をする程度)(3)	853	423	421	9	131	205	162	163	189	3	14	6	58	90	59	98	99	51	10	368
会えばあいさつをする程度で付き合っている(2)	473	173	293	7	81	127	70	80	112	3	30	10	54	44	15	17	16	25	12	250
ほとんど(もしくは全く)付き合いはない(1)	61	23	35	3	6	15	9	13	16	2	5	0	4	2	4	3	7	7	5	24
無回答	40	11	27	2	7	15	4	5	7	2	2	0	4	2	0	1	6	3	2	20
合計	1,738	785	924	29	280	424	313	326	383	12	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	2.8	2.9	2.8	2.8	2.9	2.8	2.9	2.9	2.8	2.5	2.5	2.6	2.5	2.9	2.9	3.1	3.1	3.0	2.6	2.8

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

#### 近所付き合いの状況の全体割合



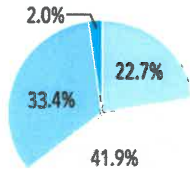
- とても親しく付き合っている(気軽に相談できる程度) 17.9%
- ある程度親しく付き合っている(立ち話をする程度) 49.1%
- 会えばあいさつをする程度で付き合っている 27.2%
- ほとんど(もしくは全く)付き合いはない 3.5%
- 無回答 2.3%

(3) 集落活動（ふれあいいきいきサロン、老人クラブ、婦人会、子ども会、集落行事など）へは参加されていますか。

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
よく参加している（月1回以上）(3)	394	240	148	6	69	79	86	89	70	1	5	1	13	35	19	59	82	24	3	153
少し参加している（月1回未満）(2)	728	308	412	8	95	190	136	127	180	0	18	4	68	90	50	62	47	43	2	344
ほとんど（もしくは全く）参加していない(1)	581	225	344	12	108	147	90	106	122	8	37	12	43	38	22	31	44	52	31	271
無回答	35	12	20	3	8	8	1	4	11	3	2	1	2	0	0	4	4	4	1	17
合計	1,738	785	924	29	280	424	313	326	383	12	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均（※）	1.9	2.0	1.8	1.8	1.9	1.8	2.0	1.9	1.9	1.2	1.5	1.4	1.8	2.0	2.0	2.2	2.2	1.8	1.2	1.8

※平均の数字は、選択肢の（ ）内の数字から計算しました。

集落活動への参加の全体割合



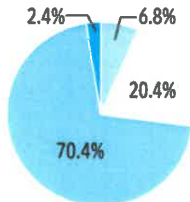
- よく参加している（月1回以上） 22.7%
- 少し参加している（月1回未満） 41.9%
- ほとんど（もしくは全く）参加していない 33.4%
- 無回答 2.0%

(4) ボランティア活動（集落活動は含まない）へは参加されていますか。

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
よく参加している（月1回以上）(3)	118	67	50	1	21	25	21	25	26	0	4	0	5	6	2	25	32	4	0	40
少し参加している（月1回未満）(2)	355	200	151	4	54	65	78	73	85	0	10	1	12	19	26	57	55	21	0	154
ほとんど（もしくは全く）参加していない(1)	1,224	502	702	20	199	324	210	225	258	8	46	17	108	138	63	73	85	90	34	570
無回答	41	16	21	4	6	10	4	3	14	4	2	0	1	0	0	1	5	8	3	21
合計	1,738	785	924	29	280	424	313	326	383	12	62	18	126	91	91	156	177	123	37	785
平均（※）	1.3	1.4	1.3	1.2	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.0	1.5	1.4	1.8	2.0	2.0	2.2	2.2	1.8	1.2	1.8

※平均の数字は、選択肢の（ ）内の数字から計算しました。

ボランティア活動への参加の全体割合



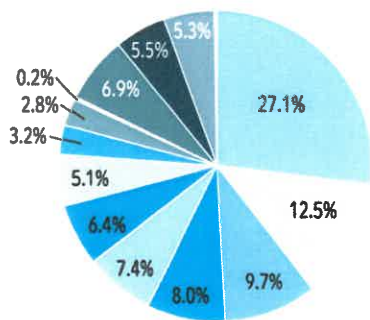
- よく参加している（月1回以上） 6.8%
- 少し参加している（月1回未満） 20.4%
- ほとんど（もしくは全く）参加していない 70.4%
- 無回答 2.4%

※(3)(4)の質問にどちらか、もしくは、両方に「ほとんど(もしくは全く)参加していない」と回答された方はお答えください。(5)集落活動(ふれあいいきいきサロン、老人クラブ、婦人会、子ども会、集落行事など)やボランティア活動に参加していない理由は何ですか。

※当てはまるものの番号全てに○を付けてください。

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
仕事や家事等が忙しく時間がない	558	192	359	7	100	152	75	100	128	3	7	9	71	86	34	28	23	11	0	289
参加するきっかけがない	257	100	155	2	32	80	43	41	60	1	14	6	27	31	10	19	10	4	2	134
健康や体力に自信がない	199	83	114	2	31	35	53	43	34	3	1	0	4	5	4	8	29	52	19	77
活動内容に興味・関心がない	164	74	89	1	24	54	16	35	32	3	6	0	17	23	8	12	13	4	1	80
活動に関する情報が入ってこない	153	60	93	0	14	49	24	25	41	0	3	5	22	19	7	11	6	5	0	75
人間関係がわずらわしい	131	45	84	2	18	40	17	32	21	3	1	0	16	17	4	9	11	3	0	70
知っている人がいない	105	30	74	1	16	36	9	20	24	0	5	8	13	12	2	6	4	1	0	54
参加方法が分からない	65	30	34	1	6	23	9	14	13	0	2	5	11	4	1	5	6	3	0	28
自分の生活には関係ない	58	29	28	1	8	21	7	13	8	1	2	0	6	6	2	5	6	5	1	25
家族の理解が得られない	4	1	3	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
特になし	143	74	64	5	28	35	23	24	31	2	17	2	5	9	5	14	9	13	6	63
その他	113	41	70	2	19	22	24	25	21	2	2	0	9	7	5	5	10	18	10	47
無回答	109	58	49	2	14	34	22	18	20	1	6	0	5	9	9	11	12	10	4	43
合計	2,059	817	1,216	26	310	583	324	390	433	19	66	35	206	228	91	133	140	129	43	988

### 集落活動やボランティア活動に参加していない理由の全体割合

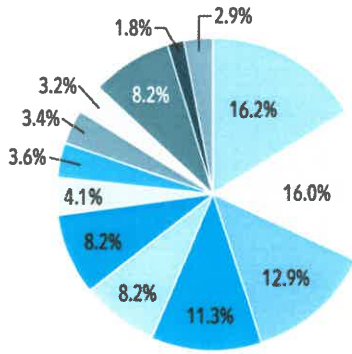


- 仕事や家事等が忙しく時間がない 27.1%
- 参加するきっかけがない 12.5%
- 健康や体力に自信がない 9.7%
- 活動内容に興味・関心がない 8.0%
- 活動に関する情報が入ってこない 7.4%
- 人間関係がわずらわしい 6.4%
- 知っている人がいない 5.1%
- 参加方法が分からない 3.2%
- 自分の生活には関係ない 2.8%
- 家族の理解が得られない 0.2%
- 特になし 6.9%
- その他 5.5%
- 無回答 5.3%

(6) 今後、集落活動（ふれあいいきいきサロン、老人クラブ、婦人会、子ども会、集落行事など）やボランティア活動の輪を広げていくために必要と思われることは何ですか。  
 ※当てはまるものの番号全てに○を付けてください。

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
地域における温かな人間関係の構築	598	264	326	8	93	143	125	99	135	3	12	5	43	53	37	66	77	51	6	248
若い世代への呼びかけ	592	255	330	7	108	124	109	106	142	3	25	8	52	61	30	59	62	25	6	264
広報の充実（情報の発信）	476	220	253	3	78	140	75	75	105	3	13	5	40	51	29	64	44	20	3	207
人材、リーダーの養成	420	237	179	4	66	97	83	79	95	0	2	1	13	37	27	63	64	38	7	168
活動資金の援助	304	182	117	5	51	70	65	43	74	1	5	4	18	17	23	50	37	16	3	131
体験活動などへのきっかけづくり	303	123	177	3	48	78	49	54	72	2	7	6	26	23	13	41	30	18	2	137
相談できる窓口の設置	153	67	83	3	34	41	24	22	29	3	1	0	16	12	6	12	14	21	2	69
活動拠点の確保	135	67	68	0	21	36	18	24	35	1	2	1	10	11	8	16	14	12	1	60
学校での福祉学習の充実	126	43	82	1	19	34	21	16	35	1	7	0	18	14	6	10	14	6	1	50
活動に関する研修会や講習会の実施	118	61	56	1	24	25	18	25	26	0	2	0	7	6	7	19	20	11	1	45
特になし	302	125	167	10	47	71	62	67	51	4	21	4	20	34	9	17	21	24	10	142
その他	67	31	36	0	9	16	17	17	7	1	1	0	8	6	5	4	5	4	2	32
無回答	107	45	59	3	22	24	13	20	25	3	5	1	1	4	1	4	18	17	10	46
合計	3,701	1,720	1,933	48	620	899	679	647	831	25	103	35	272	329	201	425	420	263	54	1,599

集落活動やボランティア活動の輪を広げていくために必要なことの全体割合



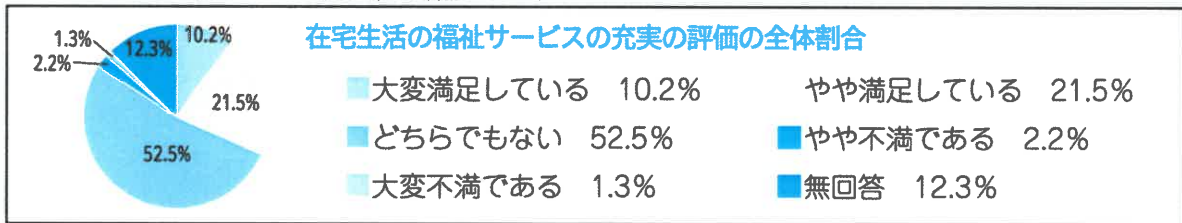
- 地域における温かな人間関係の構築 16.2%
- 若い世代への呼びかけ 16.0%
- 広報の充実（情報の発信） 12.9%
- 人材、リーダーの養成 11.3%
- 活動資金の援助 8.2%
- 体験活動などへのきっかけづくり 8.2%
- 相談できる窓口の設置 4.1%
- 活動拠点の確保 3.6%
- 学校での福祉学習の充実 3.4%
- 活動に関する研修会や講習会の実施 3.2%
- 特になし 8.2%
- その他 1.8%
- 無回答 2.9%

(7) 現在の多可町社会福祉協議会の活動への評価をお願いします。  
 ※当てはまる番号に○を付けてください。

### 在宅生活の福祉サービスの充実

	全体	性別			居住小学校区					年代										
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	177	91	84	2	32	24	47	43	31	0	3	0	5	8	10	12	31	27	11	70
やや満足している(4)	374	174	195	5	63	86	70	69	82	4	8	3	22	26	31	48	58	20	7	151
どちらでもない(3)	912	396	499	17	134	251	148	158	219	2	42	14	81	120	44	65	48	40	9	449
やや不満である(2)	39	16	22	1	8	7	5	8	11	0	2	0	2	2	0	6	4	4	1	18
大変不満である(1)	23	13	9	1	11	5	2	1	2	2	2	0	5	1	2	3	1	1	0	8
無回答	213	95	115	3	32	52	41	47	38	3	5	1	11	6	4	22	35	31	9	89
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.4	3.5	3.4	3.2	3.4	3.3	3.6	3.5	3.4	3.0	3.1	3.2	3.2	3.2	3.5	3.4	3.8	3.7	4.0	3.4

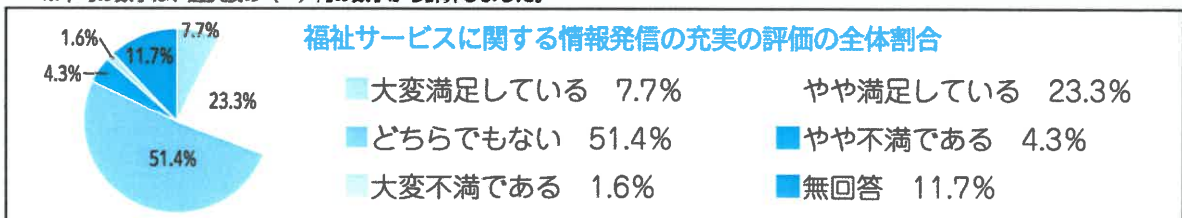
※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。



### 福祉サービスに関する情報発信の充実

	全体	性別			居住小学校区					年代										
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	134	71	61	2	30	21	32	27	23	1	3	0	4	6	7	10	27	17	7	53
やや満足している(4)	405	186	214	5	66	91	79	90	77	2	8	3	23	26	28	51	66	28	7	165
どちらでもない(3)	893	388	489	16	134	234	146	148	229	2	45	14	80	114	49	59	48	40	11	433
やや不満である(2)	75	34	41	0	11	21	16	11	16	0	0	0	4	7	2	14	7	5	1	35
大変不満である(1)	27	15	9	3	10	6	3	2	3	3	1	0	5	4	2	2	2	1	0	10
無回答	204	91	110	3	29	52	37	48	35	3	5	1	10	6	3	20	27	32	11	89
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.4	3.4	3.3	3.1	3.4	3.3	3.4	3.5	3.3	2.8	3.2	3.2	3.1	3.1	3.4	3.4	3.7	3.6	3.8	3.3

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

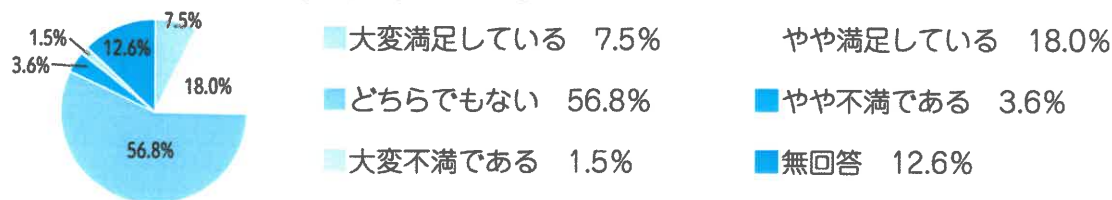


## ボランティア活動への支援

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	131	64	65	2	29	23	26	26	26	1	7	0	3	8	10	15	25	10	3	50
やや満足している(4)	313	143	166	4	52	71	59	63	65	3	12	2	18	25	16	41	51	21	4	123
どちらでもない(3)	987	427	543	17	147	258	173	176	230	3	36	15	89	118	53	70	57	51	18	480
やや不満である(2)	62	40	20	2	10	15	11	9	17	0	1	0	2	5	5	10	8	4	0	27
大変不満である(1)	26	15	10	1	9	6	1	2	6	2	1	0	4	1	2	4	3	0	0	11
無回答	219	96	120	3	33	52	43	50	39	2	5	1	10	6	5	16	33	37	12	94
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.4	3.4	3.3	3.1	3.4	3.1	3.1	3.2	3.3	3.4	3.6	3.4	3.4	3.3

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

### ボランティア活動への支援の評価の全体割合

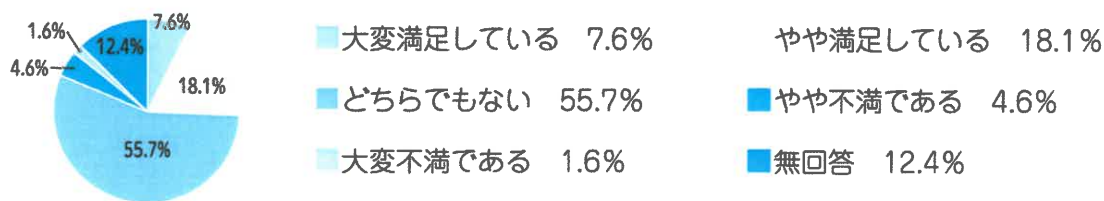


## 身近に相談できる窓口の充実

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	132	65	63	4	28	18	33	26	25	2	5	0	4	9	9	8	26	13	5	53
やや満足している(4)	314	131	179	4	54	74	58	62	65	1	10	3	20	29	17	33	46	20	6	130
どちらでもない(3)	968	431	523	14	139	259	160	174	234	2	39	14	85	112	54	79	64	45	12	464
やや不満である(2)	80	47	30	3	20	16	15	11	17	1	1	0	3	5	4	10	11	6	1	39
大変不満である(1)	28	15	12	1	8	6	4	4	4	2	2	0	5	2	2	3	4	2	0	8
無回答	216	96	117	3	31	52	43	49	38	3	5	1	9	6	5	23	26	37	13	91
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.4	3.3	3.3	3.0	3.3	3.2	3.1	3.2	3.3	3.2	3.5	3.4	3.6	3.3

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

### 身近に相談できる窓口の充実の評価の全体割合



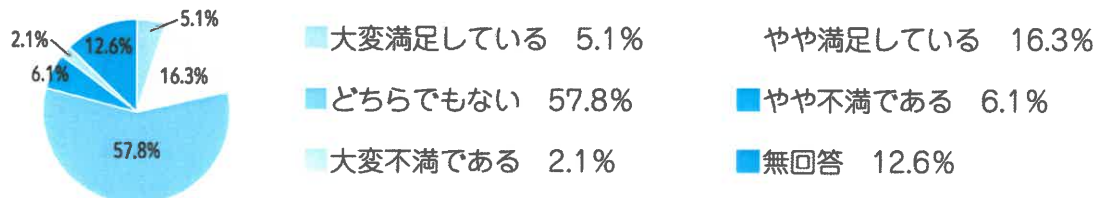


## 集落住民への福祉に関する普及啓発

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	88	44	41	3	19	13	18	19	18	1	2	0	3	8	4	6	15	8	3	39
やや満足している(4)	284	131	149	4	48	65	50	60	60	1	12	2	17	21	17	33	43	19	4	116
どちらでもない(3)	1,004	433	554	17	148	262	176	181	234	3	39	15	88	117	56	71	72	52	16	478
やや不満である(2)	106	62	44	0	19	20	23	14	29	1	2	0	3	8	3	21	12	6	2	49
大変不満である(1)	37	20	15	2	11	11	3	2	8	2	2	0	5	3	6	3	4	2	0	12
無回答	219	95	121	3	35	54	43	50	34	3	5	1	10	6	5	22	31	36	12	91
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2	3.3	3.1	2.8	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.4	3.3	3.3	3.2

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

### 集落住民への福祉に関する普及啓発の評価の全体割合

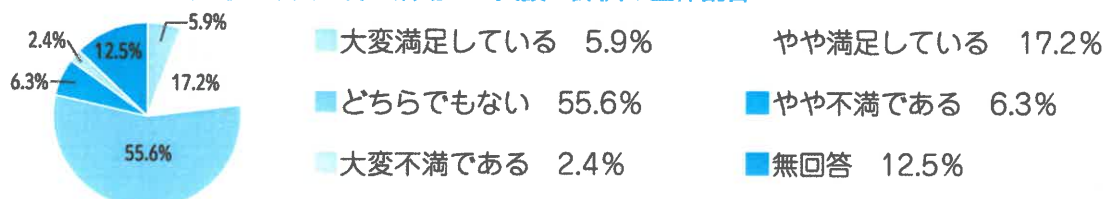


## 集落住民による見守りや支え合い活動への支援

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	103	51	49	3	25	11	20	25	21	1	6	0	4	10	5	8	18	9	3	40
やや満足している(4)	299	131	164	4	52	78	56	54	58	1	9	2	18	21	18	33	45	18	6	129
どちらでもない(3)	966	416	533	17	147	252	159	178	228	2	38	15	83	119	53	72	63	51	14	458
やや不満である(2)	110	69	41	0	19	21	25	13	31	1	3	0	8	4	4	18	13	8	1	51
大変不満である(1)	42	21	19	2	10	10	7	5	7	3	1	0	4	3	6	5	6	1	1	15
無回答	218	97	118	3	27	53	46	51	38	3	5	1	9	6	5	20	32	36	12	92
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	2.5	3.3	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2	3.4	3.3	3.4	3.2

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

### 集落住民による見守りや支え合い活動への支援の評価と全体割合

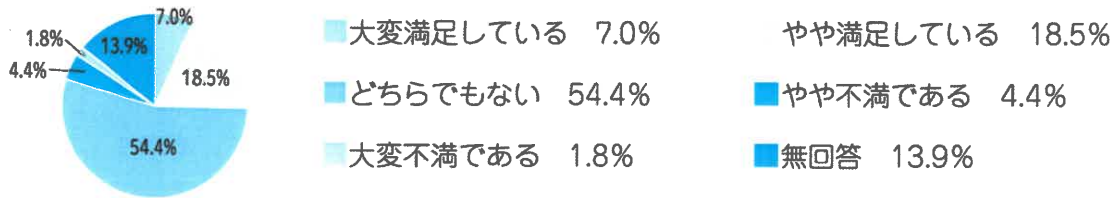


## 児童・生徒に対する福祉学習の推進

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	122	47	72	3	25	13	29	25	29	1	4	0	7	8	6	11	21	11	3	51
やや満足している(4)	321	121	196	4	55	89	50	68	58	1	15	5	21	32	21	24	35	13	5	150
どちらでもない(3)	945	437	494	14	140	238	163	169	231	4	35	12	78	108	50	87	66	54	16	439
やや不満である(2)	77	52	24	1	13	18	18	9	19	0	2	0	6	6	4	9	11	3	0	36
大変不満である(1)	31	17	11	3	9	7	4	5	14	2	1	0	4	3	6	1	2	0	0	14
無回答	242	111	127	4	38	60	49	50	42	3	5	1	10	6	4	24	42	42	13	95
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.3	3.2	3.4	3.1	3.3	3.2	3.3	3.4	3.3	2.9	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.3	3.5	3.4	3.5	3.3

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

### 児童・生徒に対する福祉学習の推進の評価の全体割合

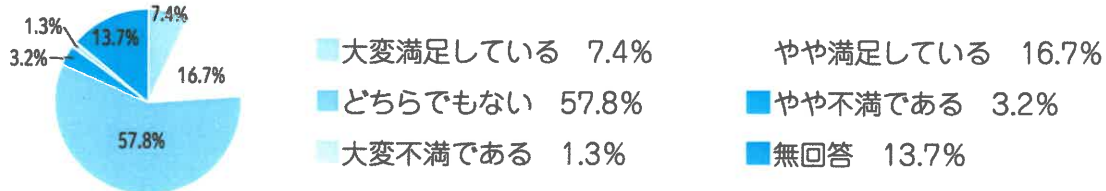


## 当事者団体(\*)への支援

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	128	69	56	3	26	22	32	25	22	1	2	0	3	8	5	12	36	11	2	49
やや満足している(4)	290	138	149	3	54	66	46	63	60	1	11	3	12	25	22	28	48	15	5	121
どちらでもない(3)	1,004	429	557	18	149	261	174	180	236	4	43	14	95	117	49	80	56	52	15	483
やや不満である(2)	55	34	21	0	9	11	11	4	19	1	0	0	2	6	6	8	4	4	2	23
大変不満である(1)	23	14	7	2	7	6	5	1	3	1	1	0	4	1	3	2	2	1	0	9
無回答	238	101	134	3	35	59	45	53	43	3	5	1	10	6	6	26	31	40	13	100
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.4	3.2	3.0	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.3	3.8	3.4	3.3	3.3

\*当事者団体とは、社協が事務局を務めている、多可町老人クラブ連合会、多可町身体障害者福祉協会、多可町手をつなぐ育成会、多可町遺族会、多可町ボランティア連絡会、多可町介護者の会のことです。 ※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

### 当事者団体への支援の評価の全体割合

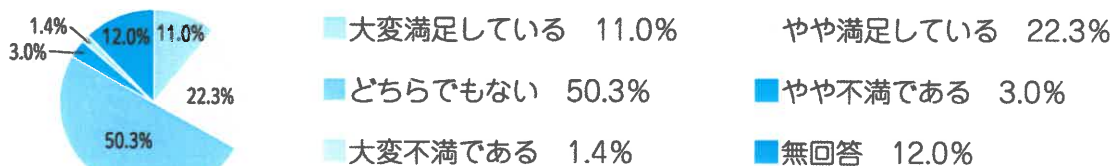


## 介護保険事業・障害者福祉サービス事業

	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	192	96	93	3	38	26	56	35	35	2	4	0	3	13	13	13	31	29	7	79
やや満足している(4)	387	175	208	4	66	80	81	81	78	1	10	3	16	29	20	46	59	35	10	159
どちらでもない(3)	875	378	480	17	123	243	132	157	217	3	42	14	89	112	49	61	48	29	9	422
やや不満である(2)	52	29	23	0	13	12	8	7	12	0	0	0	3	2	2	9	6	3	1	26
大変不満である(1)	24	12	11	1	8	9	1	1	3	2	1	0	5	1	3	2	4	0	0	8
無回答	208	95	109	4	32	55	35	45	38	3	5	1	10	6	4	25	29	27	10	91
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.4	3.5	3.4	3.3	3.5	3.3	3.7	3.5	3.4	3.1	3.3	3.2	3.1	3.3	3.4	3.5	3.7	3.9	3.9	3.4

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

### 介護保険事業・障害者福祉サービス事業の評価の全体割合

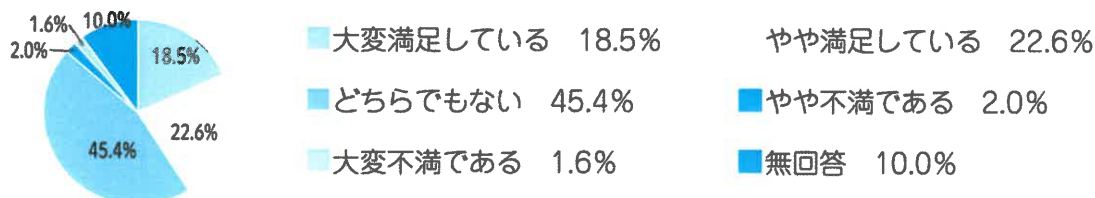


## 社協職員の対応

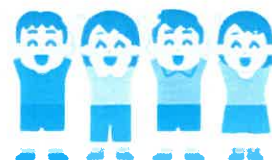
	全体	性別			居住小学校区						年代									
		男性	女性	無回答	中町北小学校区	中町南小学校区	杉原谷小学校区	松井小学校区	八千代小学校区	無回答	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答
大変満足している(5)	321	152	165	4	64	44	79	74	56	4	3	0	5	17	21	27	61	50	17	120
やや満足している(4)	393	188	201	4	63	92	84	71	81	2	11	5	13	32	22	48	57	32	9	164
どちらでもない(3)	789	335	438	16	117	226	106	134	204	2	40	12	90	104	39	52	38	16	6	392
やや不満である(2)	34	17	16	1	7	7	8	7	5	0	1	0	4	1	4	4	2	3	0	15
大変不満である(1)	28	17	10	1	8	7	2	3	6	2	2	0	4	1	1	5	2	0	0	13
無回答	173	76	94	3	21	49	34	37	31	1	5	1	10	8	4	20	17	22	5	81
合計	1,738	785	924	29	280	425	313	326	383	11	62	18	126	163	91	156	177	123	37	785
平均(※)	3.6	3.6	3.6	3.3	3.6	3.4	3.8	3.7	3.5	3.6	3.2	3.3	3.1	3.4	3.7	3.6	4.1	4.3	4.3	3.5

※平均の数字は、選択肢の( )内の数字から計算しました。

### 社協職員の対応の評価の全体割合



## アンケートの記述欄より主なものを抜粋



### 子育て、学校での福祉学習に関するもの

- **子どもの遊べる公園**が少なすぎる。公園があれば子ども同士のふれあいや、親同士の交流につながるの作ってほしい。(34歳/男性)
- もっと子育てしやすい町。どこの店、施設、病院などにも**オムツ交換台、ベビーカート**(赤ちゃん用)などを増やして欲しい。医療費無料の年齢を上げるなども。(40歳/女性)
- 保育園以外の日は、**子どもの遊び相手**がおらず不便を感じる。共働き世帯にも支援を…。働けば働くほど、保育料や税金が上がる。生活に遣うお金が残らず、税金を払っても利益の還元がないので、何のために働いているのかわからなくなる。(29歳/女性)
- **子どもの医療費**が収入に関わらず無償にしてくれたらいいのに。子育てしやすい多可町。働きやすい多可町。働いただけ乳児や子どもの医療費がかかり、保育料が上がる。働いて給料が全てそちらの方へ。何のために働いているのか…とよく思う。(年齢不明/女性)
- **母子家庭**であり、子どもの成長、大人になるまでの教育資金と自分の体。(51歳/女性)
- 若い世代が来られるような分譲地、公園、川遊びができるようなところを作してほしい。このままでは住民がいなくなる一方。もっともっと子育てしやすい町をアピールしてほしい。私はこのコロナ禍で**ここに住んで良かったな**と思っている。子どもたちを庭や散歩に行ったり充分外で遊ばせることができている。アピールしてほしい。(35歳/女性)
- 子どもが小学校に通っているが、福祉学習のことは学年が成長して上になっても今でも思い出して話している。とても貴重な体験をさせていただき嬉しく思っている。障害を持つ子の親として、何より周囲の理解、サポートはとてもありがたいと思う。**一言で救われる世の中、優しい気持ちで助け合える社会**を望んでいる。(43歳/女性)
- **ボランティアなどのことを小中学校のときに勉強したらいい**と思う。大人になってからは、なかなか難しいかもと思う。(59歳/男性)



### ボランティア、高齢者の活躍の場に関するもの

- **若い世代のボランティア参加**を増やしてほしい。「心はたらけば、身動く」どの世代も将来の子や孫の代のことを考えて行動できれば、いい多可町にできると思う。(70歳/女性)
- ボランティアグループのリーダーになる人がない。就労年齢が高くなってボランティア活動をする人が少ない。人口が少なくても高齢者が多くなっても自然の中でみんなが仲良く楽しくいきいきと暮らせる町になればいいなと思っている。高齢者だから何もできないではなく、**高齢者だからこそできることがあるんじゃないか**と思う。そういう高齢者の後ろ姿を若者に見てもらえれば。老人クラブなどで話し合って活動できればと思う。(78歳/女性)
- 人はそれぞれに特技がある。それを高齢になっても生かして世間に役立てることができれば、**わずかでも収入につながるようなシステム**が考えられるようなコミュニティであれば、生きがいにつながるのではないかと思う。私の住む地区はコミセンで毎月1回カフェで交流するが、そこでいきいき百歳体操というのをやる。本当に百歳まで介護も家族にも迷惑をかけずに暮らし、ピンピンコロリの人生でありたいと願っている。(85歳/男性)

## 交通手段、通院、買い物に関するもの

- 高校に行きやすいように**バスの本数を増やして**、部活をしてもすんなり帰れるようにしてほしい。多可町は自然がいっぱいで住みやすいが、交通の便はとても悪い。(13歳/女性)
- **免許返上**を令和5年に考えているが、それからの生活が心配。気軽に買い物や医療機関に行くことのできる交通手段が確保されるような町の仕組みや手段が欲しい。(85歳/男性)
- 今は車に乗れるから不自由は何も感じないが、これから先、歳を重ねていき、車に乗れなくなったとき、バスは1時間に1本あるかないか、タクシーは1台しかないから誰かが利用していると使えない。同居の子どもがいない人でも、**交通の便利さがあれば出かけることができる**。(年齢不明/女性)
- 結婚で多可町へ転入し17年がたった。都会からすると近所付き合いは多いと思う。しかし、交通手段が常に車で、なかなか近所の人と出会う機会は少ないと感じている。**高齢者の交通手段**についてとても気になる。買い物や病院へ行くにもバスの本数も少なく適当な時間がない。社協の買い物ツアーなど、どのくらいの方が利用されているのか分からないが、買い物難民にならないよう、支援してもらえたらと思う。(年齢不明/女性)
- 時間によって**バスが増えたらいい**と思う。例えば、6時~8時、17時~19時は30分に1回など。(30歳/男性)
- 自立した生活をできるだけ長く続けてもらうのために、商店主に**出前販売や移動スーパー**をしてもらう。そこでお互いの顔が見えて話が弾めば見守りも兼ねられる。笑顔の多い町には人が集まると信じている。みんなが居心地のいい町をめざしましょう。(53歳/女性)



## 少子高齢化に関するもの

- 人口減少社会にあって、**希薄化している地域コミュニティ**をどう維持していくかなど。(年齢不明/男性)
- 集落活動やボランティア活動について。団塊の世代が引退し、担い手が減少していく中で**既存の団体が維持できない**と思う。考え方を抜本的に転換する時期に来ている。そうしないと今後担い手になっていく世代に大きな負担がかかり、そのような町に住みたいとは思わないのではないかと思う。(45歳/男性)



## 人口確保、移住に関するもの

- 大学生になると必ず家を出る環境の多可町。さて帰って来ようと思える魅力があるかどうか。仕事があるかどうか。その辺りが課題なのでは…と思っている。町外の友人からは「良い所だね」とよく言ってもらえるが、都市部に住む子たちは、「**遊びに来るには良いけど住めない**」とも言われる。(年齢不明/女性)
- **若い人たちが住みたい**と思う町になったらいいなと思う。空き家などを若い人達や、他の市の人達にも活用してもらえたらいいと思う。そのためには空き家のリフォームなども必要だが。(61歳/女性)

## 介護、認知症、障害に関するもの

- **老老介護にも負担が大きく**、もっとたやすく受け入れてもらえるところがあるといいのに!! 足腰が痛く、本人も辛そう。でもなかなか思うように手助けができず毎日がつらい。早く楽になりたい気持ちでいっぱい。(77歳/男性)
- ちょっと気になる軽い認知症のある方がおられるので、もし自分がと思うと、できるだけ機会を持ち、話を聞かせてもらうようにしてきた。地域でも支えることはとても大事に思っている。そういう仲間が何人かいるので、個々の活動が何人かの共同の活動に持っていかれたらと思う。**やさしく聞いてもらえたら誰でも、嬉しいもの**と思う(たとえ同じことの繰り返しでも)。(71歳/女性)
- 隣近所や地域で子どもたちの成長を見守り、高齢者や障害のある方たちにもっとやさしく住みやすい多可町になればいいなと思う。在宅介護はする側に大きな負担をかけることになる。しかし、**それでもやはり家で生活していきたい**。その願いを叶えてくれる家族には本当に感謝している。(97歳/男性)
- **自閉症(※14)の子**がどのような進路で成人となっていくのが不安。仕事をする事、生活を送ることができるのか?(37歳/女性)



## 見守り、助け合いに関するもの

- 家族、周りの人、知っている人が**コロナにかかった時に助け合える、力になれる**多可町であってほしい。(年齢不詳/女性)
- ボランティアでなくても良いので、困っていること(台風の際の片付けや準備など)を**気軽に解決してもらえ**る方がいれば良い。(70歳/女性)
- 高齢の方は困っておられる方が多いと思うので、**助け合えるシステム**ができればと感じる。八千代区の“**ちょいボラ(※15)**”のようなものを町全体でしてもらいたい。前に他の自治体でもされているのをテレビで見て、「いいな」と思っていた。ちょっと買い物に付き合ったり送迎したり…。私も時折近所の方にしているが、相手の方も気を遣われて、「自分からは言いにくい」という様子。安い金額で、でもタダではないということで頼みやすくなるのかな。近くの方々の困りごとをもっと助け合いやすくなればと感じている。(年齢不明/女性)
- 5年後、10年後は自分が人様の手を借り福祉の利用をする年代になるので、今自分にできることはさせてもらいたいと思う。向こう三軒両隣とは、とてもいい言葉と思う。声をかけ合い気楽に助け合える多可町でありたい。私は日頃から隣近所の方にはとても良くしてもらい、ありがたいと思っている。ボランティアは、**いつかは自分へのボランティアになる**と思う。元気でできる間は、少しでもできることをさせてもらいたいと思うので、**人様に声かけをしてできる仲間を増やしたい**と思う。(64歳/女性)
- 社協とか役場とか相談するところはあるが、やはり**もっと身近で支えてくれる方がいるときっと心強い**と思う。今は健康なので、少しでも支える側のお手伝いができればと思う。(66歳/女性)

自閉症(※14)：社会性発達の質的障害、コミュニケーションの質的障害、興味や活動の偏りの3つを特徴とした、先天的な脳の機能障害のこと。

ちょいボラ(※15)：ちょいボラグループやちょいお助け隊の略(詳細はP19のコラム3を参照)。

## 交流、つながりに関するもの

- コロナ禍における孤立した高齢者の存在、集会など中止になり楽しみが減っているのでは…。身体機能の低下、認知症の進行が懸念される。高齢化を止めることは今後も無理なので、地域福祉の力をこれからも充実してってもらいたい。多可町がいつまでも、いきいきとした町であることを願う。**今いる私たちが守っていかないとだめだな**と感じている。(40歳/女性)
- 隣保のことはだいたい分かるが、隣保以外の方で困っておられる方もいるかもしれない。しかし、交流のない方の実情が分からず、災害時とか、後で後悔することのないよう、もっと地域の方々と交流できたらと思っている。地域で助け合いができ、自助、共助、公助が十分で、災害や困ったことがあったときに誰も置き去りにしない、誰も辛い思いをしないで済む多可町になったらいいなと思っている。先日、テレビで多可町の紹介があり、高齢者が元気な多可町と言われていて感激した。皆が支え合い助け合って、健康長寿の多可町であってほしい。今は仕事や家族の介護で精一杯だが、時間にこれから余裕ができてくると思うので、地域の方々のために、**自分ができることを少しずつ始めていきたい**と思っている。(57歳/女性)
- 加美区では愛育会があったが、若い世代になり会員が少なく消滅した。大事な事業が若い人に伝わりにくい世代になってきているように思う。自分は、愛育会消滅後、集落でサロンを立ち上げ、2ヶ月に1回開催している。集落の役員にも最近認めてもらい、良い方法になっている。村の事業の中にも盛り込んでもらうことになった。サロンに来てくださる方と仲良く、とても喜んで来てもらい、**自分たちメンバーも元気をもらっている**。(73歳/女性)
- **高齢者と小学生などが交流する機会**があれば、昔の遊びを教えてもらったり、昔の生活を教えてもらったり…。(38歳/女性)
- 年代、業種等に問わず、様々な人が垣根を越えて話し合い、交流ができる場が欲しいと思う。コミュニティの基本である**集落の各種団体の交流がもっと必要**であると考えている。異業種や年代層の違いを越えた交流は得る事柄も多いと思う。(77歳/男性)
- 日本人の若者を増やすのは難しい。このため、外国から来ている外国人との交流を活発にし、**国際的な地域社会**を作る。子ども、高齢者、外国人などがいきいきとして暮らせる国際的な町になればいいなあ。(70歳/男性)
- 小学生、中学生の生徒が「おはようございます」「こんばんは」頭を下げあいさつする。家庭環境か、学校での教育指導か、心が温まる。(80歳/男性)
- 最近若い世代の人たちが近所の人たちにあいさつがなくなったこと。あいさつを課題にしたら良いと思った。**もっと高齢者と仲良く接することができたらな**って思う。(15歳/女性)

## 収入、経済に関するもの

- 経済面での課題について、無年金や年金額が少ない、生活保護受給など、収入面での課題が多いと思う。働きたくても様々な理由で働けない、パート・派遣社員での賃金では生活が苦しいなど課題が多く、特に今の**コロナ禍での求人の減少も相まって厳しい状況にある人が増えつつある**と思う。(70歳/男性)
- 仕事量の減少による収入減少で生活にゆとりがないので、福祉に関する活動ができていないと思う。やはり、**十分な仕事量で収入が安定している、人口が多い多可町にならないといけない**。(55歳/男性)

## 社協に関するもの

- 集落活動やボランティア活動の輪を広げていくには、**メディアがキー**になると思う。たかテレビに社協タイムを定着させる、視聴率を上げるため人力をかける、などの取り組みを行い、「**社協情報は分かりやすいから見てみよう**」という感じになれば、大成功。(69歳/男性)
- 介護する立場になって福祉の大切さを実感した。自分や家族が元気なときは社協の取り組みなどあまり関心がなかったが、**当事者になって初めて気づくことが多々ある**。きっと他の人達もそうではないかと思う。(年齢不明/男性)
- 社協は**介護関係のことだけされているイメージがあった**。(年齢不明/女性)
- 災害対応として**災害ボランティアセンターの運営**も社協に求められるところ。実際の災害時の運営体制を想定されているか？どの程度実力を持っているか？災害対応、感染症対応も福祉計画には必要な視点と思われる。(年齢不明/男性)
- 今後は、もっと積極的に**社協に相談や情報を聞きに行きたい**と思う。(年齢不明/男性)
- 地域福祉の相談や民間ならではの地域づくりや住民との伴走なら、社協が頑張っている多可町になってほしい。制度の枠の中だけで動いたり判断したりするのではなく、**住民に寄り添い、民間の強みを発揮して、どうしたら困っている人を支えられるか、考えて活動してほしい。期待している**。(88歳/女性)



## その他

- **発達障害や既婚別居片親家庭など、グレーゾーンの方**に対する対応。(46歳/女性)
- 昼間、学校、仕事で**若い世代がいなく1人になる人が多くなっている**。「今日一日誰とも話をしていない」といったことも耳にする。昼間に何かあったときが心配。(年齢不明/男性)
- **単身者の交流の場**があれば知りたい。人口減少、高齢者増加傾向になりつつあるので、それに対応できる方策を早めに打ち出すべきと考える。単身者はどうしても孤独感を感じるので、そうさせない場を多く作ってもらいたい。(81歳/男性)
- 嫁側の実家へ入るなど、**町外から結婚などで多可町に引っ越してきた男性のつどい**などがあれば良いと思う。町内に知り合いがないので、そういう場で少しでも顔見知りの人ができればと思う。(年齢不明/女性)
- 他所から来た者にとって、すでにでき上がっている集団には入りづらい。**他所から来た者同士**がなじめる場所があってほしい。特にこの辺りは昔からの付き合いなどのつながりがあり、そのきっかけで仲良くなる人が多いと感じる。夫婦どちらも多可町出身ではない場合、居心地の悪さを感じる。(29歳/女性)
- 子どもが大人になる頃、自分達が老いた後の町が心配。誰が私たちを看ってくれるのか、買い物、通院など、**このアンケートを書くことが考えるきっかけになった**。(年齢不明/女性)

## 記述欄で多かった区分け(課題と感じられていることや要望などをカウント)

- ① 子育て、学校での福祉学習に関するもの(88件)
- ② 交通手段、通院、買い物に関するもの(83件)
- ③ 少子高齢化に関するもの(82件)
- ④ 社協に関するもの(72件)
- ⑤ 人口確保、移住に関するもの(64件)



### 3. 多可町社会福祉協議会地域福祉推進計画策定要綱

#### (目的)

第1条 この要綱は、多可町の地域福祉を推進するため、多可町社会福祉協議会（以下「本会」という。）が策定する地域福祉推進計画（以下、「計画」という。）について、必要な事項を定める。

#### (策定委員会)

第2条 計画を策定するため、本会地域福祉推進計画策定委員会（以下、「策定委員会」という。）を設置する。

- 2 策定委員会は、地域福祉推進計画策定委員会委員経験者、地域住民代表、行政機関、その他本会会長が必要と認める者をもって組織し、本会会長が委嘱する。
- 3 策定委員の任期は、委嘱した日から当該年次の計画策定終了日とする。
- 4 策定委員会に委員長1名、副委員長1名を置き、策定委員の互選により選任する。
- 5 策定委員会は、委員長が招集する。
- 6 策定委員会にアドバイザーを置くことができる。
- 7 策定委員に費用弁償を支弁する。
- 8 前項に規定する費用弁償の額は、本会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程を適用する。
- 9 策定委員会が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、説明及び意見を聴くことができる。

#### (策定委員会の任務)

第3条 策定委員会は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 計画策定に必要な資料の収集及び分析
- (2) 地域課題の把握等のための調査
- (3) 推進計画を策定するための基本的事項の検討及び総合的な調整に関すること
- (4) 計画案の作成に関すること
- (5) その他

#### (職員ワーキングチーム)

第4条 計画策定の事務調整等を行うため、本会会長が任命した職員によるワーキングチームを設置する。

2 ワーキングチームは、本会会長の承認を得て外部からの指導者・助言者を招へいすることができる。

#### (ワーキングチームの任務)

第5条 ワーキングチームは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 計画策定の進行管理
- (2) 策定委員に関する資料の作成
- (3) 計画策定に伴う執筆
- (4) その他計画策定に必要な調整等

#### (庶務)

第6条 策定委員会、ワーキングチーム及びその他計画策定に関する庶務は、本会地域福祉担当において処理する。

#### (その他)

第7条 この要綱に定めるものの他、計画の策定に関し必要な事項は、会長が別に定める。

#### 附 則

- 1 この要綱は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 最初の策定委員会は、第2条第4項の規定にかかわらず、本会会長が招集する。
- 3 この要綱は、平成22年10月1日から施行する。

## 4 多可町社会福祉協議会第4次地域福祉推進計画 策定経過

### ■策定委員会

回	開催日	主な協議内容
1	令和2年7月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定委員委嘱書交付、策定委員長・副委員長の選出</li> <li>計画策定についての研修 ～社協が策定する地域福祉推進計画とは～ 兵庫県社会福祉協議会地域福祉部 山下 美春 氏</li> <li>第4次地域福祉推進計画の説明</li> <li>住民アンケートの内容検討</li> </ul>
2	令和2年11月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次地域福祉推進計画の内部評価</li> <li>住民アンケートの結果確認</li> <li>住民アンケート結果に対する課題と対応策の協議</li> </ul>
3	令和3年1月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次地域福祉推進計画の協議</li> </ul>
4	令和3年2月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次地域福祉推進計画の最終確認</li> </ul>

### ■ワーキング

回	開催日	主な協議内容
1	令和2年6月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次地域福祉推進計画の計画期間の確認</li> <li>第4次地域福祉推進計画策定の流れ、内容の協議</li> <li>住民アンケートの依頼先、内容の協議</li> <li>第3次地域福祉推進計画の内部評価の協議</li> </ul>
2	令和2年11月9日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次地域福祉推進計画の内部評価</li> <li>住民アンケート結果に対する課題と対応策の協議</li> </ul>
3	令和3年1月6日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次地域福祉推進計画の協議</li> </ul>
4	令和3年2月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次地域福祉推進計画の最終確認</li> </ul>

## 5 多可町社会福祉協議会第4次地域福祉推進計画 策定委員名簿

No.	氏名	所属	役職
1	廣畑 幸子	地域住民代表（第3次計画評価委員）	委員長
2	吉崎 敏郎	地域住民代表（第3次計画評価委員）	副委員長
3	森位 ひとみ	地域住民代表（第3次計画評価委員）	委員
4	西元 律子	地域住民代表（中支部地域福祉推進委員）	委員
5	森野 学也	地域住民代表（加美支部地域福祉推進委員）	委員
6	嶋田 たづ子	地域住民代表（八千代支部地域福祉推進委員）	委員
7	窪田 敏弘	多可町福祉課	委員
8	生田 恵子	多可町生涯学習課	委員
9	山下 美春	兵庫県社会福祉協議会地域福祉部	委員
10	山口 達也	多可町社会福祉協議会会長	オブザーバー

# 社会福祉法人 多可町社会福祉協議会

## 本部・中支部

〒679-1133

多可郡多可町中区靴屋434-11

TEL 0795-32-3425

FAX 0795-32-4162

E-mail taka-wel@taka-syakyo.or.jp



## 加美支部 (介護相談センター・デイサービスセンターやすらぎ)

〒679-1327

多可町加美区市原41

TEL 0795-30-8151

FAX 0795-36-1099

## グループホームやすらぎの郷

〒679-1327

多可町加美区市原40-1

TEL 0795-30-8153

FAX 0795-30-8153



## ヘルパーステーション

〒679-1211

多可町加美区寺内123

TEL 0795-30-7110

FAX 0795-35-1140

## 八千代支部

〒677-0121

多可町八千代区中野間650-1

TEL 0795-37-0360

FAX 0795-37-1547



計画はホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.taka-syakyo.or.jp/>

多可町社協

検索



第4次地域福祉推進計画  
令和3年4月発行